

**CLOVER**

**302um** Cash management System

## 取扱説明書

初めてお使いになる場合は  
まず、**設置手順（8ページ）** をご覧下さい。

# 目次

ページ

## ご使用前に

- ◆ 安全上のご注意 . . . . . 2
- ◆ 各部の名前と働き . . . . . 4
- ◆ お使いになる前の注意 . . . . . 7
- ◆ お使いになる前の準備 . . . . . 8
- ◆ 時刻及び日付の設定 . . . . . 10

## 使い方

- ◆ 基本的な操作 . . . . . 14
- ◆ 簡易領収書を発行したいとき . . . . . 17
- ◆ 操作を間違えたとき . . . . . 19
- ◆ 閉店後の操作 . . . . . 22

## 便利な使い方

- ◆ 各キーの便利な使い方 . . . . . 23
- ◆ 売上の点検 . . . . . 31
- ◆ 売上の精算 . . . . . 32
- ◆ 電子ジャーナルレポート . . . . . 34

## 設定の仕方

- ◆ 単価・割引率の設定 . . . . . 35
- ◆ 消費税の設定 . . . . . 36
- ◆ 印字モードの設定 . . . . . 40
- ◆ その他の設定 . . . . . 41

## こんなときは



- ◆ 消耗品のセットアップ . . . . . 64
- ◆ ドロアーの設置方法 . . . . . 70
- ◆ 故障かな?と思ったら . . . . . 71
- ◆ 仕様 . . . . . 72
- ◆ 保障およびアフターサービス . . . . . 73

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

【警告】と【注意】の意味は以下の通りです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が死亡または重傷を負う恐れがある</u> 内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある</u> 内容を示しています。

## 警告

<b>電源コードや差込プラグについて</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないで下さい。</li><li>● 電源コードは、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、加工したり、上に重いものを乗せないで下さい。また、電源コードが本機の引き出し(ドロアー)の下を通るような配線はしないで下さい。電源コードが破損して、火災や感電の原因になることがあります。</li><li>● <u>濡れた手で差し込みプラグに触れないで下さい。</u>感電のおそれがあります。</li></ul>	<b>内部に異物や水などを入れしないで下さい</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 本機の開口部から内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないで下さい。また、花瓶の水やジュースなどの液体を本機の内部にこぼさないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。</li><li>● 万一、異物や水などが本機の内部に入った場合は、<u>直ちに差込プラグをコンセントから抜いて、使用しないようにして下さい。</u></li></ul>
<b>本機を分解しないでください</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 本機のトップケースを開けないで下さい。内部には電圧の高い部分や鋭く上がった部分がありますので、感電をしたり、ケガをする恐れがあります。</li><li>● 本機を改造しないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。</li></ul>	<b>電源・電圧について</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないで下さい。また、タコ足配線をしないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。</li><li>● 付属のACアダプター以外のアダプターは使用しないでください。故障の原因となります。</li></ul>

## 注意

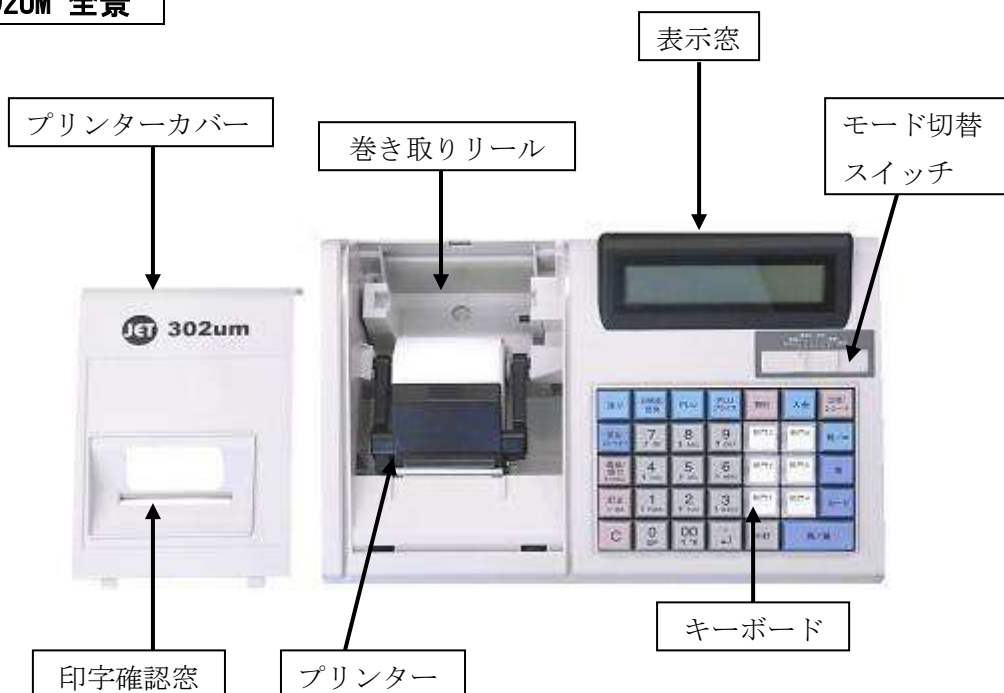
<b>設置場所について</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないで下さい。落ちたり倒れたりして、ケガの原因になることがあります。</li><li>● 湿気やホコリの多い場所におかないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。</li><li>● 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないで下さい。火災または感電の原因となることがあります。</li></ul>	<b>本機の上には物を置かないで下さい</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となる事があります。</li><li>● 本機の上に重い物を置かないで下さい。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。</li></ul>
<b>移動する場合は</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 本機の移動は、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。</li></ul>	<b>差し込みプラグを抜くときは</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。<u>必ずプラグを持って抜いてください。</u></li></ul>
<b>ドローア（引き出し）の注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● ドローア（引き出し）が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意下さい。ケガの原因となることがあります。</li><li>● ドローア（引き出し）が開いているときに、ドローアに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。</li></ul>	<b>長時間ご使用にならないときは</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 連休等で、長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いて下さい。</li></ul> <b>消耗品交換時の注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 記録紙交換等の際に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフが巻き込まれないよう、ご注意下さい。ケガの原因となることがあります。</li><li>● プリンターの印字部分やモーター部分には触れないで下さい。ケガやヤケドの原因になる事があります。</li></ul>

## お願い（必ず守ってください）

1. 温度が高くなる場所や、水がかかる所には置かないで下さい。
2. 揮発性の液体でレジスターを拭かないで下さい。
3. 付属品以外のACアダプターを使用しないで下さい。
4. 乾電池は銘柄の違う物を混在して使用しないで下さい。
5. 乾電池は液漏れ等破損のあるものを使用しないで下さい。

# 各部の名前と働き

## 302UM 全景



本製品はACアダプターを接続しなくてもアルカリ電池、若しくはニッケル水素乾電池にて操作する事が出来ます。その場合のガイドライン動作保証値は下記の通りです。

### <アルカリ電池>

1日の来店客数50名(レシート発行枚数50枚)

1日の運用時間8時間

約7日間の使用が可能

### <ニッケル水素電池>

1日の来店客数50名(レシート発行枚数50枚)

1日の運用時間8時間

約10日間の使用が可能

### 左記の条件

電池 : アルカリ乾電池(三菱製)

ニッケル水素 Panasonic 2800mAh 相当品

温度 : 常温 25℃環境下

1枚のレシート印字パターンは下記

ヘッダー部 : 5行

時刻・日時 : 2行

部門登録 : 4行(4取引)

合計行 : 税金関連2行

合計/預かり/釣3行

**(\*)電池駆動の場合(特にアルカリ)は、節約印字モードでの印字をお勧め致します。**

**印字モードの設定方法は、40ページを参照して下さい。**

**(\*)節約印字モードでは、印字文字により印字速度が変化します。**

設定保持用のバッテリーを装備しており不意の停電や駆動用電池切れにもメモリー保持対応しております。駆動用電池の充電機能はありませんのでACアダプターは常に準備しておく事をお勧めいたします。なおACアダプターをコンセントから抜いていても電源ジャックが本体に挿入されている状態では駆動用乾電池で動作しない仕様となっておりますのでご注意ください。(設定

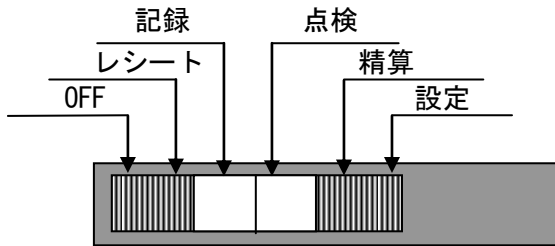
保持用乾電池、駆動用乾電池は付属していません。)

### 付属品

1. ロールペーパー 1 個
2. ジャーナル巻き取りホルダー
3. ACアダプター



### モード切り替えスイッチ



- 「OFF」            --- レジを使用しないとき
- 「レシート」    --- レシートモードで売上の登録を行うとき
- 「記録」         --- ジャーナルモードで売上の登録を行うとき
- 「点検」         --- 売上の点検を行うとき
- 「精算」         --- 売上の精算を行うとき
- 「設定」         --- お店にあわせた色々な設定を行うとき

※モード切替スイッチをOFFの位置から任意の動作位置に切り替えた時、プログラムの読み込みに数秒掛かります。表示窓の表示は「-----」となりキー入力は反応しませんが故障ではありません。ドローア連続開閉時も同様になります。

表示窓に「0」が表示されてからご使用ください。

### キーボード

送り	X/時刻 倍角	PLU	PLU プライス	領収書/ 割引	入金	出金/ レシート
担当/ レシート オフ	7 ア @	8 カ ABC	9 サ DEF	部門 3	部門 6	替/#
返品/ 値引 カナ/ABC	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	部門 2	部門 5	掛
訂正 ←BS	1 マ PQRS	2 ヤ TUV	3 ラ WXYZ	部門 1	部門 4	カード
C	0 SP	00 ワ"＃	・ ←	小計	現/預	

現／預	－現金支払い時に使用します
掛	－掛売り時に使用します
C	－エラー解除、数字キーの入力を取り消す時などに使用します
送り	－キーを押している間紙送りします
返品／値引	－返品登録、値引登録に使用します
割引／領収書	－割引登録、簡易領収書発行時に使用します
小計	－小計印字、表示に使用します
出金／レシート	－出金登録・レシート複製に使用します
入金	－入金登録に使用します
カード	－カードでの支払い時に使用します
00、0～9	－数字入力に使用します
.	－小数点キー 数字入力に使用します
部門1～部門6	－部門登録に使用します
PLU	－PLU登録に使用します
X／時刻	－乗算登録、時刻表示に使用します
担当／レシートオフ	－販売員を指定する、レシート ON/OFF を指定するとき 使用します
訂正	－訂正登録時に使用します
PLU／プライス	－一時的にPLUの金額を変更するのに使用します
替／#	－不可算登録・両替に使用します。

# お使いになる前の注意

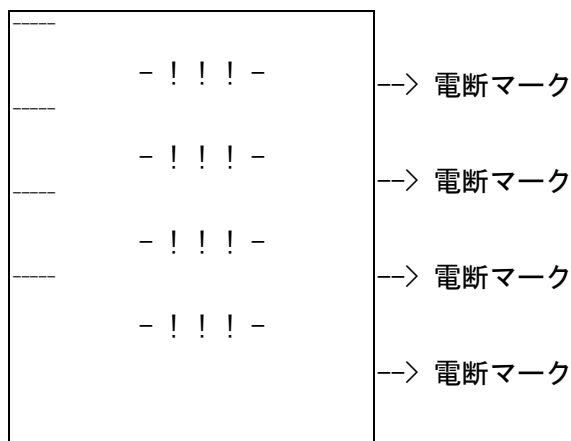
## ヘッダー/フッターの印字

レシート印字のところでヘッダーが印字されますが、ヘッダーおよびフッターが印字されるのはアダプターでの駆動時のみとなります。電池消耗の節約のため、電池駆動の場合ヘッダー印字はしません。(但し、印字モードを通常印字モードに設定してある場合は乾電池駆動の場合でもヘッダー印字します。)

## 駆動電池寿命のお知らせ

電池駆動時に下記のような印字が続いた場合は故障ではありません。

これは電池の容量が少なくなったという知らせです。このような印字が続く場合若しくは、印刷途中でロール紙が排出され続ける場合には、直ちに新しい電池に交換して頂くか、アダプターを接続してください。



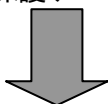


# お使いになる前の準備(1/2)

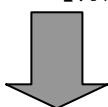
## 設置手順

本体を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

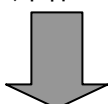
- 1** 梱包箱の中から機械本体を含む、全ての付属品を取りだし、本体を止めてある保護テープを剥がします。



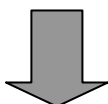
- 2** 付属品が全部そろっているか、確認します。  
—→【付属品】(5 ページ参照)



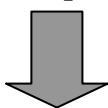
- 3** 機械本体を設置場所(平らなところ)に置いた後に、ACアダプターを家庭用 100V コンセントに確実に差し込み本体へアダプターのジャックを確実に差し込みます。  
(本体にACアダプターを接続していない時は電池でも駆動できます。)



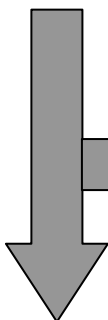
- 4** 各種乾電池をセットします。(別売りとなっていますので別途お買い求めください)  
—→【乾電池をセットする】(64、65 ページ参照)



- 5** モード切り替えスイッチを「レシート」または「記録」に合わせます。  
続いてロールペーパーを取り付けます。  
—→【ロールペーパーをセットする】(66、67 ページ参照)



- 6** 日付と時刻をセットします。  
—→【日付・時刻をセットする】(10 ページ参照)



必要に応じて、以下の設定をします。

【単価・割引率】(35 ページ参照)

【消費税の設定】(36 ページ参照)

【印字モードの設定】(40 ページ参照)

【その他の設定】(41 ページ参照)

- 7** これでレジスターが使える状態になります。

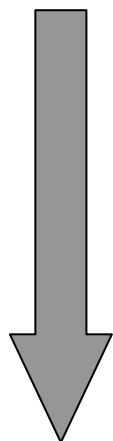
## 一日の仕事の流れ

一日の仕事の流れについて、以下に示します。

## 開店前

---

---

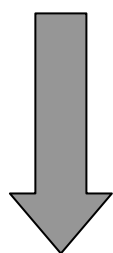


- ✓ 差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。  
(又は駆動用電池容量が十分か確認します。)
- ✓ ロールペーパーが充分にあるか、確認します。  
充分に無い場合は、交換します。  
――→【ロールペーパーを交換する】(68、69 ページ参照)
- ✓ 日付と時刻を確認します。
- ✓ 釣銭用の現金をドロアーに用意します。  
――→【売上に関係ない現金をドロアーに入れる】(24 ページ参照)

## 営業中

---

---

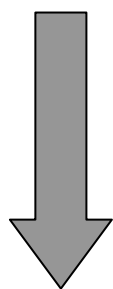


- ✓ 商品の売上を登録します。  
――→【基本的な操作】(14 ページ参照)
- ✓ 必要に応じて、売上の確認をします。  
――→【売上内容の点検】(31 ページ参照)

## 閉店後

---

---



- ✓ 一日の売上を打ち出します。  
――→【一日の売上を打ち出す】(22 ページ参照)
- ✓ ドロアー内のお金を取り出す。
- ✓ モード切り替えスイッチを『OFF』にします。

今日も一日、お疲れ様でした。

## 時刻および日付の設定

ここでは、時刻および日付の設定方法について説明します。

これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせませす。

### 時刻を設定する

時刻に遅れまたは進みが出たときは、時刻を再設定します。

乾電池を交換したら、設定時刻を確認してください。

<例>

午後2時05分に合わせる場合

<手順>

1. 設定する時刻(時、分)を24時間制で入力し、**X/時刻**キーを押します。



### 日付を設定する

乾電池を交換したときには、日付を設定確認してください。

<例>

2006年10月5日に合わせる場合

<手順>

1. 設定する日付(年、月、日)を入力し、**替/#**キーを押します。



(\*) 年は西暦年の下2桁を入力します。(2006 → 06)

(\*) 月と日は必ず2桁ずつ入力します。(1~9 → 01~09)

<印字サンプル>

ジコク	14:05
ヒヅケ	2006-10-05

## お使いになる前の準備 (2/2)

### 消費税の計算方式

このレジスターは、次の3つの税設定が可能です。

#### ① 内税方式

商品金額に消費税5%が含まれているものを販売する方式

例：価格 1,000円

本体価格	952円
消費税価格	48円

合計 1,000円 受取

#### ② 非課税方式

消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式

例：価格 1,000円

本体価格	1,000円
消費税価格	0円

合計 1,000円 受取

#### ③ 外税方式

商品金額に消費税5%が含まれていない。  
商品金額に対して課税する方式

例：価格 1,000円

本体価格	1,000円
消費税価格	50円

合計 1,050円 受取

#### ★ポイント

- このレジスターはご購入時点では、5%の消費税(①内税方式)で設定されています。  
また、税額の円未満は四捨五入に設定されています。
- (③外税方式)に変更する場合は設定変更が必要です。(36ページ参照)
- 税方式が混在する店舗様の場合は、ご希望の方式を部門キーに設定することで、  
混在運用が可能になります。(38ページ参照)

※内税と外税の混在運用は設定できません。

## **消費税の設定について**

店舗様の課税方式に合わせて、それぞれ以下のように消費税の設定を行ってください。

- ◆ 内税方式の店舗様は・・・  
このままご使用いただけます。
- ◆ 外税方式の店舗様は・・・  
--->【全ての商品を外税扱いにする】(36 ページ参照)
- ◆ 非課税方式の店舗様は・・・  
--->【全ての商品を非課税扱いにする】(37 ページ参照)
- ◆ 課税方式が混在する店舗様は・・・  
--->【課税／非課税を混在して設定する】(38 ページ参照)

このレジスターは、モード切り換えスイッチの切り換えによってレシート：レシートモードか記録：ジャーナルモード(営業記録モード)かのどちらかを選んで使用することが出来ます。

- ジャーナルはお店の営業記録として、レジスター内に巻き取られます。  
――>【ロールペーパーをジャーナルとしてセットしてください】(66 ページ参照)
- レシートモードとしてお使いの場合  
――>【ロールペーパーをレシートとしてセットしてください】(67 ページ参照)

### ジャーナル(レシート)の見方

ジャーナル(レシート)には、レジの操作内容が印字されますが、消費税の設定(内税方式/非課税方式)によって、印字される内容が異なります。ここではジャーナル(レシート)の見方について説明します。

#### ジャーナル例 内税(設置手順完了後)の場合

		17:21	
日付/時間	2007-08-02	0020	
部門番号	部門 02	¥5,780	
レシート登録	部門 01	¥360	
	部門 01	¥360	
	部門 01	¥360	
乗算登録	部門 03		
	10x ¥128	¥1,280	
	値引	¥-100	
	部門 02	¥1,750	
	部門 02	¥850	
	部門 04	¥3,000	
	小計	¥13,640	
	割引	5.00%	
		¥-682	
	小計	¥12,958	
	課税合計	¥12,958	
	消費税 5%	¥617	
	<b>合計</b>	¥12,958	
	お預り	¥15,000	
	お釣り	¥2,042	

#### レシート例 課税方法が混在の場合

		17:25	
日付/時間	2007-08-02	0021	
部門番号	部門 02	¥5,780 非	非課税
レシート登録	部門 01	¥360	
	部門 01	¥360	
	部門 01	¥360	
乗算登録	部門 03		
	10x ¥128	¥1,280 非	非課税
	値引	¥-100	
	部門 02	¥1,750 非	非課税
	部門 02	¥850 非	非課税
	部門 04	¥3,000 非	非課税
	小計	¥13,640	
	割引	5.00%	
		¥-682	
	小計	¥12,958	
	課税合計	¥1,026	
	消費税 5%	¥49	
	非課税	¥11,932	
	<b>合計</b>	¥12,958	
	お預り	¥15,000	
	お釣り	¥2,042	

## 基本的な操作 (1/2)

ここでは、基本的なレジの操作について次の場合に分けて説明します。

- 1品の商品をお買い上げの時
- 2品以上の商品をお買い上げの時
- 同じ商品を数多くお買い上げの時
- 複数の商品を複数お買い上げの時
- ドロアーを開けるときまたは両替するとき

### 本書の例について

本書では、【税率5%の内税方式(円未満四捨五入)】の場合を例に説明しています。

ここでの印字例は【ジャーナルモード】に設定している場合の例となります。

### 1品の商品をお買い上げのとき

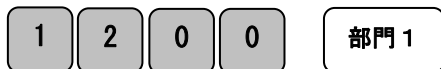
1品の商品をお買い上げのときの操作を説明します。

<例>

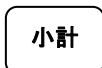
単価	数量	部門	預かり金
¥ 1,200	1	部門 1	¥ 2,000

<手順>

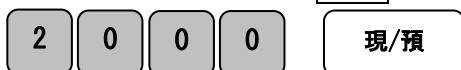
1. 商品の単価と部門キーを押します。



2. **小計**キーを押します。



3. 預かり金額を入力して**現/預**キーを押します。



<印字例>

	16:56
2007-08-02	0002
部門 01	¥1,200
小計	¥1,200
課税合計	¥1,200
消費税 5%	¥57
<b>合計</b>	¥1,200
お預り	¥2,000
お釣り	¥800

## 2品以上の商品をお買い上げのとき

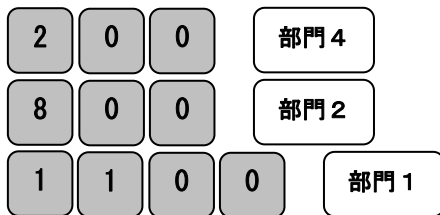
複数の商品をお買い上げのときの操作を説明します。

<例>

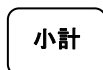
単価	数量	部門	預かり金
¥ 200	1	部門 4	¥ 2,500
¥ 800	1	部門 2	
¥ 1,100	1	部門 1	

<手順>

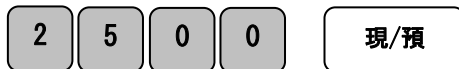
1. 商品の単価と部門キーを押します。商品の数だけ操作を繰り返します。



2. 商品をすべて入力したら小計キーを押します。



3. 預かり金額を入力して現/預キーを押します。



<印字例>

	16:57
2007-08-02	0003
部門 04	¥200
部門 02	¥800
部門 01	¥1,100
小計	¥2,100
課税合計	¥2,100
消費税 5%	¥100
<b>合計</b>	¥2,100
お預り	¥2,500
お釣り	¥400

## 同じ商品を数多くお買い上げのとき

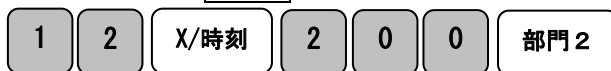
同じ商品を複数お買い上げのときの操作を説明します。

<例>

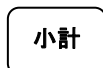
単価	数量	部門	預かり金
¥ 200	12	部門 2	¥ 10,000

<手順>

1. 商品の数量、X/時刻キー、単価、部門キーの順に押します。



2. 小計キーを押します。



3. 預かり金額を入力して現/預キーを押します。



<印字例>

	16:57
2007-08-02	0004
部門 02	
12x ¥200	¥2,400
小計	¥2,400
課税合計	¥2,400
消費税 5%	¥114
<b>合計</b>	¥2,400
お預り	¥10,000
お釣り	¥7,600



## 基本的な操作 (2/2)

### 複数の商品を複数お買い上げのとき

複数の商品を複数お買い上げのときの操作を説明します。

<例>

単価	数量	部門	預かり金
¥ 300	3	部門 2	¥ 2,000
¥ 500	2	部門 1	

<手順>

1. 商品の単価と部門キーを押します。

商品の数量の数だけ部門キーを繰り返します。

3	0	0	部門 2
部門 2			
部門 2			

2. 別の商品の単価と部門キーを押します。

この商品の数量の数だけ部門キーを繰り返します。

5	0	0	部門 1
部門 1			

3. **小計**キーを押します。

小計
----

4. 預かり金を入力して**現/預**キーを押します。

2	0	0	0	現/預
---	---	---	---	-----

<印字例>

	16:57
2007-08-02	0004
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 01	¥500
部門 01	¥500
小計	¥1,900
課税合計	¥1,900
消費税 5%	¥90
<b>合計</b>	¥1,900
お預り	¥2,000
お釣り	¥100

(注) 表示画面上ではリポート回数が10回以上の時、部門横に下1桁だけ表示します。

### ドロアーを開けるとき、または両替するとき

ドロアーを開ける時または両替するときの操作を説明します。

ドロアーを開けるのと両替するのは同じ操作です。

<手順>

1. **替/#**キーを押します。ドロアーが開きます。

替/#
-----

<印字例>

	16:58
2007-08-02	0006
両替	

# 簡易領収書を発行したいとき(1/2)

売上レシートが発行された後に「領収書/割引」キーを押すことで、簡易領収書が発行できます。  
また、レシートオフの状態でも簡易領収書の発行が出来ます。

## 簡易領収書の発行

<例>

単価	数量	部門	預かり金
¥ 500	10	部門 4	¥ 30,000
¥ 2,000	1	部門 2	
¥ 15,000	1	部門 1	

<手順>

1. 例題の商品登録を行います。

1	0	X/時刻	5	0	0	部門 4
2	0	0	0			部門 2
1	5	0	0	0		部門 1
小計	3	0	0	0	0	現/預

2. 「領収書/割引」キーを押します。

領収書/割引

(注) ジャーナルモード  
では領収書は発行でき  
ません。ご注意ください。

レシート一連番号

領収書一連番号

お客様名書き込み欄

但し書き込み欄

お店のお名前等を手書き、もしくはお店のスタンプが押せるよう  
スペースを設定できます。

### <設定方法>

モード切替スイッチを【設定】に合わせ2桁の数字を数字キーで  
入力し、続けて「掛」キーを押します。

2桁の数値が紙送りする行数、即ちスペースとなります。

*	*	掛
---	---	---

\*は任意の数値(00~99まで)

(\*)お買い上げ時はスペース無しで設定しています。

<印字例>

	16:57
2007-08-03	0005
部門 04	
10x ¥500	¥5,000
部門 02	¥2,000
部門 01	¥15,000
小計	¥22,000
課税合計	¥22,000
消費税 5%	¥1,048
<b>合計</b>	<b>¥22,000</b>
お預り	¥30,000
お釣り	¥8,000

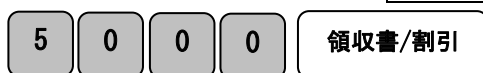
<簡易領収書印字例>

<b>領収書</b>	
2007年8月3日	0005
	領収 No0001
	様
¥22,000-	
税抜金額	¥20,952
消費税等	¥1,048
(但し	
正に領収致しました)	
収入	印
印紙	

## 金額指定の簡易領収書の発行

<手順>

1. 領収書の額面金額を入力し「領収書/割引」キーを押します。



<簡易領収書印字例> (\* )この場合、税額は印字されません。

<b>領収書</b>		
2007年8月3日	0006	
領収 No0002		
様		
<b>¥5,000-</b>		
(但し 正に領収致しました)		
印		
<table border="1"><tr><td>収入 印紙</td></tr></table>		収入 印紙
収入 印紙		

(注) ジャーナルモード  
では領収書は発行でき  
ません。ご注意ください。

### 簡易領収書発行時のレシート用紙のご注意

- \* 簡易領収書を発行される場合および、ジャーナルを保存される場合は、中保存タイプ以上のロールペーパーを使用することをお勧めします。
- \* 感熱紙(サーマル用紙)は紙に比べて吸湿性が劣る傾向がありますので、収入印紙貼付後や捺印後はすぐに擦ったりしないで下さい。
- \* 感熱紙(サーマル用紙)は強い光にさらすと印字文字が薄くなり見えにくくなりますので保管・保存には注意してください。
- \* お客様にお渡しするときは【汚れ防止】と【光からの遮断】のため、印字面を内側にして2つ折りにしてお渡し下さい。

## 操作を間違えたとき (1/2)

ここでは、操作を間違えたときの操作方法について、次の場合に分けて説明します。

- ・ 部門キーを押す前に訂正するとき
- ・ 部門キーを押した後に訂正するとき
- ・ 売り上げた商品を返品するとき

金額や数量をレジスターに入れる為に $\boxed{1} \sim \boxed{9}$ 、 $\boxed{\cdot}$ 、 $\boxed{0}$ および $\boxed{00}$ の数字キーを押すことを【置数】といいます。置数は、レジスターの表示窓に表示されているだけで、内部にはまだ記憶されていません。また、 $\boxed{X/時刻}$ キーを押したときの数量も記憶されていません。置数のあとに部門キーなどの命令キーを押すとそのときの金額が記憶されます。記憶に入る前の数値は $\boxed{C}$ キーで消します。記憶に入ってしまった金額は $\boxed{訂正}$ キーで消します。

### 部門・取引キーを押す前に訂正する

部門キー・取引キーを押す前に訂正するときの操作を説明します。

ポイント：部門・取引キーを押す前は、全て $\boxed{C}$ キーで訂正できます。

<例>

以下の表の各操作時(①~④)に間違えたときの手順を説明します。

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥ 120	1	部門 1	④ ¥ 3,000
②	¥ 200	5	部門 4	
③	¥ 105	10	部門 2	

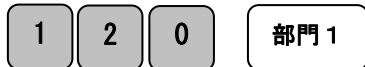
#### ①単価を押し間違えた

<手順>

1.  $\boxed{C}$ キーを押します。



2. 正しく入力し、部門キーを押します。



#### ③乗算で単価を間違えた

<手順>

1.  $\boxed{C}$ キーを押します。



2. 正しく入力し、部門キーを押します。

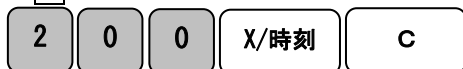


#### ②単価を入れて $\boxed{X/時刻}$ キーを押してしまった

(数量間違えて $\boxed{X/時刻}$ キーを押してしまった)

<手順>

1.  $\boxed{C}$ キーを押します。



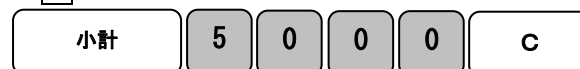
2. 正しく入力し、部門キーを押します。



#### ④預かり金額を間違えた

<手順>

1.  $\boxed{C}$ キーを押します。



2. 正しく入力し、 $\boxed{現/預}$ キーを押します。



## 操作を間違えたとき (2/2)

### 部門キーを押した後に訂正する。

部門キーを押した後に訂正するときの操作を説明します。

ポイント：部門キーを押した直後は、**訂正**キーで修正できます。

<例>

以下の表の各操作時 (①~②) に間違えたときの手順を説明します。

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥ 505	1	部門 3	¥ 2,000
②	¥ 230	3	部門 2	

#### ①単価を間違えて部門キーを押してしまった。

<手順>

1. **訂正**キーを押します。



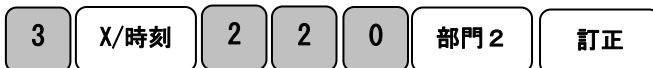
2. 正しく入力し、部門キーをおします。



#### ②乗算で単価を間違えて部門キーを押してしまった。

<手順>

1. **訂正**キーを押します。



2. 正しく入力し、部門キーを押します。



3. **小計**キーを押し、預かり金額を入力し**現/預**キーを押します。



<印字例>

-	16:57
2007-08-02	0004
部門 03	¥550
<b>訂正</b>	
部門 03	¥-550
部門 03	¥505
部門 02	
3x ¥220	¥660
<b>訂正</b>	
部門 02	
3x ¥220	¥-660
部門 02	
3x ¥230	¥690
小計	¥1,195
課税合計	¥1,195
消費税 5%	¥57
<b>合計</b>	¥1,195
お預り	¥2,000
お釣り	¥805

訂正部分

## 売り上げた商品を返品する。

ここでは、売り上げた商品を返品するときの操作を説明します。

返品とは、**現/預**キーを押して、登録が終了したあとで間違いに気づいたときや、商品の返品があった場合に行う事です。

<例>

以下の表の商品の返品を処理します。

単価	数量	部門	戻し金
¥ 780	2	部門 1	現金
¥ 1,280	1	部門 3	

<手順>

1. **返品/値引**キーを押して単価と部門キーを押します。

返品/値引	2	X/時刻	7	8	0	部門 1
返品/値引	1	2	8	0	部門 3	

2. **現/預**キーを押して返品作業完了です。

2
現/預

<印字例>

	17:00
2007-08-02	0008
返品-----	
部門 01	
2x ¥780	¥-1,560
返品-----	
部門 03	
	¥-1,280
小計	¥-2,840
課税合計	¥-2,840
消費税 5%	¥-135
<b>合計</b>	¥-2,840
現預	¥-2,840

# 閉店後の操作

## 一日の売上を打ち出す。

閉店後には、一日の売上を精算します。

一日の売上の精算をすると、日付、各種設定内容および精算回数以外の印字内容がクリアされます。精算するときは、モード切り替えスイッチをZ「精算」の位置にあわせませす。

(ドロアーに關係する説明はオプション品設置時に有効な数字となります。)

<手順>

モード切替スイッチを(精算)の位置にして~~現/預~~キーを押します。

<印字例(つづく)>

<印字例(つづき)>

		11:04	
日付	2007-08-03	0044	
精算シンボル	Z1	0006	
	部門 01	7	部門登録数
		¥2,220	
	部門 02	6	
		¥47,200 非	
部門別合計	部門 03	9	
		¥3,606 非	
	部門 04	2	
		¥830 非	
	部門 05	5	
		¥9,860	
	部門 06	11	
		¥8,600	
部門合計	部門合計	¥72,316	
	非課税合計	¥51,636	
	消費税合計	¥985	
	税抜売上計	¥19,695	
	税込売上計	¥72,316	
	値引合計	¥-100	アイテム値引合計
		¥0	小計値引合計
	割引合計	¥-44	アイテム値引合計
		¥0	小計割引合計

総売上	¥72,316
総売	¥72,316
現金売上計	0003
	¥69,720
掛売上合計	0001
	¥1,996
カード売上計	0001
	¥600
入金合計	0001
	¥2,500
出金合計	0001
	¥2,000
両替合計	0001
現金在高	¥70,110
掛売在高	¥1,996
カード在高	¥600

## 各キーの便利な使い方 (1/4)

### 部門キーに単価設定してある商品をお買い上げの場合

事前に部門キーに単価を設定しておくこと、部門キーを押すだけで登録が可能です。  
ここでは、その操作方法につき説明します。

<例>

単価	数量	部門	預かり金
¥ 800 (部門キーに設定済み)	1	部門 3	¥ 5,000
¥ 1,200	1	部門 3	
¥ 600	1	部門 2	
¥ 500 (部門キーに設定済み)	4	部門 2	

<手順>

1. 単価設定済みの商品は部門キーだけを押し、設定されていない商品は単価と部門キーを押します。

部門 3 (単価設定済み部門キー)

1 2 0 0 部門 3

6 0 0 部門 2

4 X/時刻 部門 2

2. 小計キー、預かり金額および現/預キーを押します。

小計 5 0 0 0 現/預

<印字例>

	17:07
2007-08-02	0009
部門 03	¥800
部門 03	¥1,200
部門 02	¥600
部門 02	
4x ¥500	¥2,000
小計	¥4,600
課税合計	¥4,600
消費税 5%	¥219
<b>合計</b>	<b>¥4,600</b>
お預り	¥5,000
お釣り	¥400

部門キーに単価が設定されていても、単価を入力してから部門キーを押すと、設定されている単価は消えることなく、入力された単価で登録されます。

★(参照) 部門キーへの単価設定の仕方は、41 ページを参照してください。



## 売上に関係ない現金をドロアーに入れる

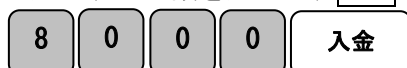
つり銭用の小銭や貸し売り代金の受け取りなど、売上ではない現金をドロアーに入れるときに、**入金**キーを使うとドロアー内の現金在高が登録されます。

<例>

つり銭用として、8,000円を補充する。

<手順>

1. 入金する金額を入力し、**入金**キーを押します。



<印字例>

	17:07
2007-08-02	0010
入金	¥8,000

## 売上に関係ない現金をドロアーから出す

集金やドロアーが一杯になったときなど、売上(お釣りや両替など)ではない現金をドロアーから出すときに、**出金/レシート**キーを使うとドロアー内の現金在高が登録されます。

<例>

1万円札15枚を金庫に移す。

<手順>

1. 出金する金額を入力し、**出金/レシート**キーを押します。



<印字例>

	17:08
2007-08-02	0011
出金	¥150,000

## 各キーの便利な使い方 (2/4)

### 値引きを行う

商品を値引きするときは、**返品/値引**キーを使います。

<例>

単価	数量	部門	値引き金額	預かり金
¥ 1,000	1	部門 1	—	¥ 5,000
¥ 2,500	1	部門 2	¥ 500	

<手順>

1. 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

1	0	0	0	部門 1
2	5	0	0	部門 2

2. 値引きする金額を入力し、**返品/値引**キーを押します。

5	0	0	返品/値引
---	---	---	-------

3. **小計**キー、預かり金額および**現/預**キーを押します。

小計	5	0	0	0	現/預
----	---	---	---	---	-----

<印字例>

	17:08
2007-08-02	0012
部門 01	¥1,000
部門 02	¥2,500
値引	¥-500
小計	¥3,000
課税合計	¥3,000
消費税 5%	¥143
<b>合計</b>	¥3,000
お預り	¥5,000
お釣り	¥2,000

## それぞれの商品金額から割引きをする

商品を割引きするときは、**領収書/割引**キーを使って操作します。

ここでは、**領収書/割引**キーに5%の割引率を設定しておいたときの手順を説明します。

<例>

単価	数量	部門	割引率	預かり金
¥ 1,000	1	部門 1	5%(設定済み)	¥ 5,000
¥ 2,500	1	部門 2	7.5%	

<手順>

1. 商品の単価と部門キーを押します。

1 0 0 0 部門 1

2. 事前設定済みの5%の割引きをするため**領収書/割引**キーを押します。

領収書/割引

3. 別の割引率の商品の単価と部門キーを押します。

2 5 0 0 部門 2

4. この商品の割引率を入力し**領収書/割引**キーを押します。

7 . 5 領収書/割引

5. **小計**キー、預かり金および**現/預**キーを押します。

小計 5 0 0 0 現/預

<印字例>

	17:14
2007-08-02	0014
部門 01	¥1,000
割引	5.00%
	¥-50
部門 02	¥2,500
割引	7.50%
	¥-188
小計	¥3,262
課税合計	¥3,262
消費税 5%	¥155
<b>合言十</b>	¥3,262
お預り	¥5,000
お釣り	¥1,738

(参照) **領収書/割引**キーへの割引率の設定は、35 ページを参照してください。

## 合計金額から割引きする

ここでは、商品の合計から割引きする手順を説明します。

<例>

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
¥ 1,000	1	部門 1	10%	¥ 5,000
¥ 2,500	1	部門 2		

<手順>

1. 商品の数だけ、単価と部門キーを押し、**小計**キーを押します。

1 0 0 0 部門 1

2 5 0 0 部門 2

小計 (合計からの割引きの時は必ず押す事)

2. 割引率を入力し、**領収書/割引**キーを押します。

1 0 領収書/割引

3. **小計**キー、預かり金および**現/預**キーを押します。

小計 5 0 0 0 現/預

<印字例>

	17:15
2007-08-02	0015
部門 01	¥1,000
部門 02	¥2,500
小計	¥3,500
割引	10.00%
	¥-350
小計	¥3,150
課税合計	¥3,150
消費税 5%	¥150
<b>合計</b>	¥3,150
お預り	¥5,000
お釣り	¥1,850

## 各キーの便利な使い方 (3/4)

### 掛け売りで売上をする

掛け売りで売上を行う場合は、**掛**キーを押します。

<例>

以下の表の商品を掛け売りで販売する。

単価	数量	部門	預かり金
¥ 1,500	4	部門 2	なし
¥ 5,500	1	部門 1	

<手順>

1. 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

4 X/時刻 1 5 0 0 部門 2

5 5 0 0 部門 1

2. **小計**キーを押します。

小計

3. **掛**キーを押します。

掛

<印字例>

	17:16
2007-08-02	0016
部門 02	
4x¥1,500	¥6,000
部門 01	¥5,500
小計	¥11,500
課税合計	¥11,500
消費税 5%	¥548
<b>合言十</b>	¥11,500
掛売	¥11,500

## 各キーの便利な使い方（4/4）

### カードで売上をする

カードで売上を行う場合は、**カード**キーを押します。

<例>

以下の表の商品をカード売りで販売する。

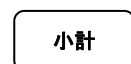
単価	数量	部門	預かり金
¥ 1,000	3	部門 1	なし
¥ 4,500	1	部門 3	

<手順>

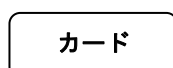
1. 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。



2. **小計**キーを押します。



3. **カード**キーを押します。



<印字例>

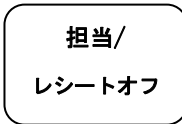
	17:16
2007-08-02	0016
部門 01	
3x¥1,000	¥3,000
部門 03	¥4,500
小計	¥7,500
課税合計	¥7,500
消費税 5%	¥357
<b>合言十</b>	¥7,500
カード	¥7,500

## レシート発行を停止する

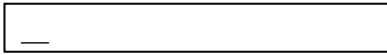
モードが「レシート」のレシートモードで使用中は、レシートの発行を停止することができます。（「記録」のジャーナルモードでは停止することができません。）

### 手川頁

1. キーボードの`担当/レシートオフ`を押します。



設定が正常に完了すると、表示窓の左から最左桁に「\_」が点灯します。



表示窓に「\_」が点灯している間は、売上処理を行ってもレシートが発行されません。

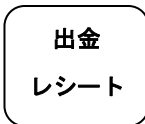
再度レシートを発行させる場合は、もう一度`担当/レシートオフ`を押してください。  
表示窓の「\_」が消え、レシートが発行できるようになります。

## レシートを複数枚発行する

モードが「レシート」のレシートモードで使用中は、直前に発行したレシートを複数枚発行することができます。（「記録」のジャーナルモードでは使用できません。）

### 手川頁

1. キーボードの`出金/レシート`を押します。



`出金/レシート`を押した回数と同じ数のレシートが発行されます。

### 注意

複数枚発行できるレシートは、直前に発行したレシートと全く同じものです。  
日付や時間も全く同一のレシートが発行されます。

# 売上の点検

ここでは売上の点検方法について説明します。点検の場合は、印字を行ってもデータは本機に残ります。売上の点検をするときはモード切り替えスイッチを「点検」の位置にあわせませす。点検で印字するとXが印字されます。

## 売上を点検する

ここでは、部門別、締め種別、入出金などの売上の明細を確認する方法を説明します。

<手順>

1. モード切り替えスイッチを「点検」の位置にあわせませす。
2. 現/預 現/預キーを押します。

<印字例(つづく)>

日付	2007-05-25	13:03	0002	
点検シンボル	<b>X 1</b>	0001		点検回数
	部門 01	32		部門登録数
		¥6,790		部門別合計
	部門 02	18		
		¥9,060		
部門合計	部門 03	8		
		¥7,785		
	部門 04	5		
		¥5,600		
	部門 05	1		
		¥5,000 非		非課税
	部門合計	¥34,235		
	非課税合計	¥5,000		
	消費税合計	¥857		
	税抜売上計	¥8,628		
	税込売上計	¥9,485		
	値引合計	-90		部門値引
		-60		小計値引
	割引合計	-55		部門割引
		-130		小計割引
	<b>純売</b>	<b>¥44,214</b>		売上合計

<印字例(つづき)>

返品合計	-100	
訂正合計	-200	
<b>総売</b>	<b>¥34,235</b>	
現金売上計	0040	現金支払回数
	¥41,784	現金売上合計
掛売上合計	0001	掛売上回数
	¥270	掛売上合計
カード売上計	xxxx	カード売上回数
	¥xxx	カード売上合計
入金合計	0001	入金回数
	¥1,000	入金合計
出金合計	0001	出金回数
	¥500	出金合計
両替合計	0001	両替回数
現金在高	¥42,284	トータル内合計
掛売在高	¥21.60	
カード在高	*X.XX	



## 売上の精算

ここでは、売上の精算方法について説明しています。精算の場合は、印字後にデータはクリアされます。売上の精算をするときは、モード切り替えスイッチを(精算)の位置にあわせます。精算で印字すると、Zが印字されます。

### 一日の売上を精算する

日計明細の精算に関する手順や印字例については、22 ページを参照してください。

### PLU レポートの点検および精算

設定した PLU ごとに登録された内容が印字できます。

モード切り替えスイッチを「点検」(X)、又は「精算」(Z)に合わせて **PLU** キーを押します。

<印字例(点検 X モード)>		<印字例(清算 Z モード)>	
日付	13:03	13:03	
	2007-05-25 0002	2007-05-25 0002	
	PLU レポート X	PLU レポート Z	
PLU 名	APPLE 1	APPLE 1	売上回数
	¥1,234,567	¥1,234,567	売上合計
	COKE 1	COKE 1	
	¥10,000	¥10,000	
	レモン 3	レモン 3	
	¥2,800	¥2,800	
	トマト 6	トマト 6	
	¥3,300	¥3,300	
	ブドウ 1	ブドウ 1	
	¥2,000	¥2,000	
	PLU 売上計 ¥1,252,667	PLU 売上計 ¥1,252,667	PLU 売上合計

## 担当者レポートの点検および精算

設定した担当者ごとのレポートが印字できます。

モード切り替えスイッチを X「点検」、又は Z「精算」に合わせて **担当/レポート** キーを押します。

<印字例(点検 X モード)>

		13:03	
日付	2007-05-25	0002	
	担当レポート	X	
担当番号	担当 01		販売回数
	012	¥10,000	販売金額
	担当 02		
	002	¥20,000	
	担当 03		
	001	¥300	
	担当 04		
	001	¥1,000	
	担当 05		
001	¥2,000		
担当 06			
001	¥500		
担当 07			
001	¥1,000		
担当 08			
001	¥200		
	担当売上計	¥35,000	販売合計

<印字例(精算 Z モード)>

		13:03	
	2007-05-25	0002	
	担当レポート	Z	
	担当 01		
	012	¥10,000	
	担当 02		
	002	¥20,000	
	担当 03		
	001	¥300	
	担当 04		
	001	¥1,000	
	担当 05		
	001	¥2,000	
	担当 06		
	001	¥500	
	担当 07		
	001	¥1,000	
	担当 08		
	01	¥200	
	担当売上計	¥35,000	

# 電子ジャーナル(EJ) レポート

このレジスターには電子ジャーナル機能(EJ)を搭載しており、精算後に下記の操作を行っていただく事で、電子ジャーナルレポートを発行できます。

## ①レポートの一時中断

レポート発行中に[C]キーを押すことで、一時的に中断することが出来ます。

[C]キーをもう一度押すと印字が再開します。[訂正]キーを押すとそのまま中断します。

## ②レポートの中断

レポート発行中に[訂正]キーを押すとレポートは中断されます。

その際、中断されたことを明示するために\*\*\*\*\*と印字がされます。

## ③電子ジャーナルメモリーのクリアー

Z(精算)モードで各電子ジャーナルを発行し終わると表示部に[EJ CLEAR 0]と表示され約2秒ほど警告音がなります。続けて[C]キーを押すとメモリーが完全にクリアーされ、[訂正]キーを押すとクリアーされずにそのままメモリーに残ります。電子ジャーナルレポートを発行せずにクリアーする場合は、[8][1][担当/レシートオフ]の順にキー入力して[C]キーを押します。

## フル電子ジャーナルレポート

モード切替スイッチを点検もしくは精算の位置に合わせて[小計]キーを押してフル電子ジャーナルレポートを発行します。

## 範囲指定電子ジャーナルレポート1(古いデータ順)

範囲指定をして古いデータ順に電子ジャーナルレポートを発行する方法です。モード切替スイッチを点検もしくは精算の位置に合わせ、発行したい範囲を数字キーで指定し[小計]キーを押して発行します。

(例：5取引分であれば[0][0][5]と入力して[小計]キーを押します。)

## 範囲指定電子ジャーナルレポート2(新しいデータ順)

範囲指定をして新しいデータ順に電子ジャーナルレポートを発行する方法です。モード切替スイッチを点検もしくは精算の位置に合わせ、発行したい範囲を数字キーで指定し[出金/レシート]キーを押して発行します。

(例：5取引分であれば[0][0][5]と入力して[出金/レシート]キーを押します。)

## 範囲指定電子ジャーナルレポート3(Zレポート古い順)

Zレポートの古い順に範囲指定して電子ジャーナルレポートを発行する方法です。モード切替スイッチを点検もしくは精算の位置に合わせ、発行したい範囲を数字キーで指定し[入金]キーを押して発行します。

(例：Zレポート2つ分であれば[0][2]と入力して[入金]キーを押します。)

# 単価・割引率の設定

## 商品単価を部門キーに設定する

部門キーに商品単価を設定することができます。

これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせます。

<例>：部門キーに以下の表単価を設定してみましょう。

<印字例>

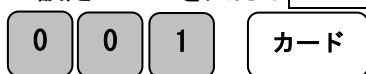
部門	単価
部門 1	¥240 ← 課税登録
部門 2	¥300 ← 非課税登録

部門 01 ST. 0 240

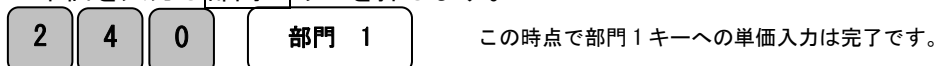
部門 02 ST. 0 300 非

<手順>

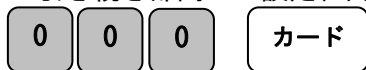
1. 設定コードを入力し **カード** キーを押します。



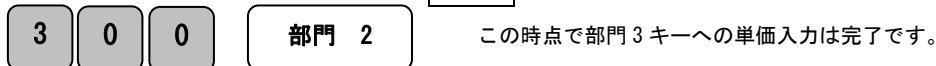
2. 単価を入力し **部門 1** キーを押します。



3. 引き続き部門 3 の設定、同じく設定コードを入力し **カード** キーを押します。



4. 部門 3 に設定する単価を入力し **部門 3** キーを押します。



これで完了です。

※各部門の単価設定は 1~4 の設定を繰り返す操作となります。

## 割引率を領収書/割引キーに設定する

領収書/割引キーに割引率を設定することができます。

<例>：割引率を以下の様な率に設定する。

設定キー	値引き率
領収書/割引キー	5%

<手順>

(\*) 割引率の設定は小数点以下 2 桁での入力になります。

例えば 10% の場合は **1 0 0 0**、5% の場合は **5 0 0** と入力してください。

4. 設定したい割引率を入力し、**1** **領収書/割引** キーを押します。



<印字例>

設定完了です。

割引 5.00 %

## 消費税の設定 (1/3)

本機は、ご購入時「すべて内税扱い」の設定になっています。  
お店によっては、非課税/外税扱い、または商品によって混在する、  
といった設定が必要となる場合があります。  
ここでは、以下に示す設定方法について説明します。

- すべての商品を内税扱いにする。
- すべての商品を外税扱いにする。
- すべての商品を非課税扱いにする。
- 課税/非課税を混在にする。

### すべての商品を内税扱いにする

すべての商品を内税扱いとするお店は各キーに「内税」を設定します。  
これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせませす。

<手順>

税設定コードを KEY 入力し **訂正** キーを押します。



<印字表示>

システム	12	1
------	----	---

完了

**注意！**：お買い上げ時はこの設定を行う必要はありません。(全て内税設定になっています)  
「全ての商品を外税扱い」に設定してしまったからの変更は、この設定を行ってください。

### すべての商品を外税扱いにする

すべての商品を外税扱いとする店舗様の設定方法です。  
モード切り替えスイッチを**設定**の位置にあわせませす。

<手順>

税設定コードを KEY 入力し **訂正** キーを押します。



<印字表示>

システム	12	0
------	----	---

完了

## 消費税の設定 (2/3)

### すべての商品を課税扱いにする

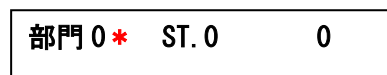
すべての商品を課税扱いとするお店は各キーに「課税」を設定します。  
これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを(設定)の位置にあわせませす。

<手順>

1. 税設定コードを入力し[カード]キーを押します。



<印字表示>



2. 単価を入力し[部門\*]キーを押します。

(ここでは単価0円で設定しています。部門ごとに  
任意の価格が設定されている場合はその価格で設定して下さい。)



※部門の「\*」は1～6の設定したい任意のキーいずれか。

完了

※ 手順1～2の工程で1部門のみが変更できるだけです。

1～6全ての部門キーを設定完了させるには繰り返し設定する必要があります。

**注意!** : お買い上げ時はこの設定を行う必要はありません。(全て内税設定になっています)

「非課税方式レジスター」(36ページ参照)からの変更など他の方式から、

「全ての商品を内税扱い」にする場合は、この設定を行ってください。

### すべての商品を非課税扱いに設定する

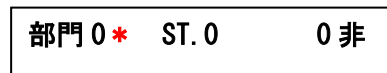
すべての商品を非課税扱いとするお店が行う設定です。  
これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチ「設定」の位置にあわせませす。

<手順>

1. 税設定コードを入力し[カード]キーを押します。



<印字表示>



2. 単価を入力し[部門\*]キーを押します。

(ここでは単価0円で設定しています。部門ごとに  
任意の価格が設定されている場合はその価格で設定して下さい。)



※部門の「\*」は1～6の設定したい任意のキーいずれか。

完了

※ 手順1～2の工程で1部門のみが変更できるだけです。

1～6全ての部門キーを設定完了させるには繰り返し設定する必要があります。

# 消費税の設定 (3/3)

## 課税/非課税を混在して設定する

取り扱いの商品が「課税」と「非課税」の混在しているお店は各部門キーを任意に設定できます。消費税の設定 (1/3) と (2/3) の手順をあわせて設定する形となります。

これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせませす。

<例>

課税、非課税を以下の表のように設定してみましょう。

課税方式	設定するキー
課税	部門 1
非課税	部門 2

<手順> 課税設定、部門 1

1. 税設定コードを入力し「カード」キーを押します。



<印字表示>

部門 01 ST. 0 0

2. 単価を入力し「部門 1」キーを押します。

(ここでは単価 0 円で設定しています。部門ごとに

任意の価格が設定されている場合はその価格で設定して下さい。)



完了

<手順> 非課税設定、部門 2

1. 税設定コードを入力し「カード」キーを押します。



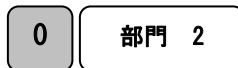
<印字表示>

部門 02 ST. 0 0 非

2. 単価を入力し「部門 2」キーを押します。

(ここでは単価 0 円で設定しています。部門ごとに

任意の価格が設定されている場合はその価格で設定して下さい。)



完了

**注意：「課税」とは最初に設定した内税もしくは外税設定を表します。**

**内税と外税の混合設定は不可能です。**

# 消費税率の変更

## 税率を変更設定する

本機はお買い上げ時の設定は消費税、すべて内税設定（5%）になっておりますが、お客様の設定操作により税率の変更が可能です。  
これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせませす。  
税率の変更手順について説明いたします。

<例>

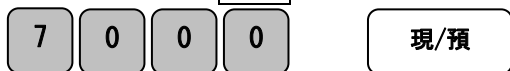
税率を内税「7%」に変更する。

<手順>

1. 設定する税率番号を入力し小計キーを押します。



2. 税率を入力し現/預キーを押します。



<印字例>

消費税	7.000
-----	-------

完了

(\*)消費税率の設定は小数点以下3桁での入力になります。

例えば7%であれば7 0 0 0、10%であれば1 0 0 0 0と入力が必要です。



# 印字モードの設定

通常印字モード、節約印字モードの2種類の印字モードの設定が可能です。

乾電池(アルカリ/ニッケル水素)にて駆動の場合、電池寿命を長く持たせるため節約印字モードでの印字をお勧めします。

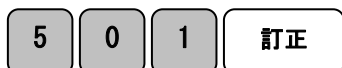
これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせませす。

お買い上げ時(デフォルト)は、通常印字モードになっています。

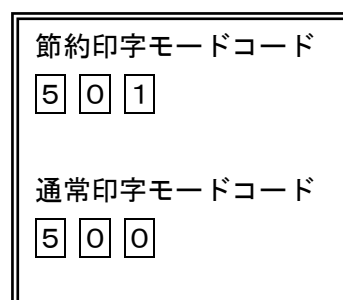
## 節約印字モードへ設定する

節約印字モードへ設定をすると乾電池の寿命が長く持ちます。

節約印字モードのコードを入力し、**訂正**キーを押します。



これで節約印字モードへの設定が完了です。



### 【注意】

節約印字モードへ設定完了の場合、ヘッダー・フッターのメッセージはプリントしなくなります。

## 通常印字モードへ設定する

お買い上げ時(デフォルト)は、このモードになっていますので節約印字モードから通常印字モードへ戻したい場合に下記の操作をしてください。

通常印字モードのコードを入力し、**訂正**キーを押します。



これで通常印字モードへの設定が完了です。

## その他の設定

一般的な設定は40ページまでで完了ですが、部門への単価設定、PLU設定、販売員の設定等、詳細な設定をご希望の方はこちらをご覧ください。

### 通常売上部門としての部門への単価設定

予め部門に価格を設定しておく、価格を入力しなくても部門キーを押すだけで売上登録をする事が出来ます。これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせませす。

ここでは、通常売上として6種類ある部門の属性を設定します。

<例>

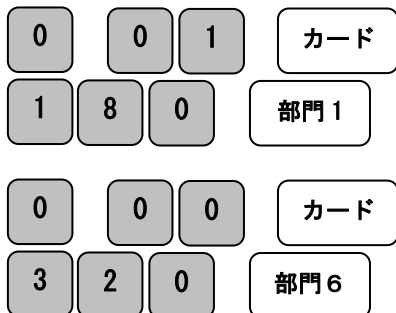
単価 180 円を部門 1、単価 320 円(非課税)を部門 6 に設定します。

単価	部門	税
部門 1	¥ 180	課税
部門 6	¥ 320	非課税

<手順>

1. 部門設定コード、税設定コードを入力し[カード]キーを押します。

単価入力をし、部門キーを押します。



部門設定コード、税設定コード表

<部門設定コード>

通常売上部門→0

単品売上部門→1

<税設定コード>

非課税→0 0

消費税課税→0 1

<印字例>

部門 01	ST.0	180
部門 06	ST.0	320 非

## 単品売上部門として部門設定する

ここでは、単品売上として6種類ある部門の属性を設定します。

部門に単品売上を設定すると、部門キーを押すだけで1件の取引終了にする事が出来ます。

ただし、預かり金の入力やつり銭計算が出来なくなります。

これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを「設定」の位置にあわせます。

<例>

単価 180 円を部門 1、単価 320 円(非課税)を部門 6 に単品売上として設定する

単価	部門	税
部門 1	¥ 180	課税
部門 6	¥ 320	非課税

<手順>

1. 部門設定コード、税設定コードを入力し[カード]キーを押します。

単価入力をし、部門キーを押します。



部門設定コード、税設定コード表

<部門設定コード>

通常売上部門→

単品売上部門→

<税設定コード>

非課税→

消費税課税→

<印字例>

部門 01	ST. 1	180
部門 06	ST. 1	320 非

## PLU の設定

PLU(Price Look Up/プライスルックアップ)はあらかじめ決められた商品割当番号(PLU 番号)ごとに「商品単価」を記憶させる事により、その割当番号を入力するだけで商品登録を行える便利な機能です。

本機の部門単価設定と同様に集計の際、金額・品物の売り上げ個数が PLU に集計されていきますので、PLU ごとの売上状況を把握することができます。

\* 32 ページ PLU レポートの点検および精算

ここではその PLU の設定方法について説明します。

これらの設定をするときは、モード切り替えスイッチを(設定)の位置にあわせませす。

### <例>

部門 1 に属する商品 1 (PLU 1) を単価 1000 円で、部門 2 に属する商品 10 (PLU 10) を単価 100 円で設定する。

PLU 番号	単価	部門
1	¥ 1,000	部門 1
10	¥ 100	部門 2

### <手順>

1. 先ず、**X/時刻** キーを押して PLU 単価設定モードに入ります。

**X/時刻**

2. PLU 番号と単価を入力し、属する部門キーを押します。

**1** **PLU**  
**1** **0** **0** **0** **部門 1**

**1** **0** **PLU**  
**1** **0** **0** **部門 2**

### <印字例>

PLU001 LD. 01	1.000
PLU010 LD. 02	100

3. 再度 **X/時刻** キーを押して設定完了です。

**X/時刻**

※必ず **X/時刻** を押して設定を完了させてください。

完了させずにレシート及び記録にモードの切替を行っても作動しません。

## PLU 登録後の操作方法

PLU の単価登録されているナンバーの操作説明です。

切替えスイッチの通常操作、レシートモード又は記録モードで操作してください。

<例>

登録設定が完了している PLU1 (単価¥1000/部門) PLU10 (単価¥100/部門2) を通常の売上操作で呼び出す場合。

PLU 番号	単価	部門
1	¥ 1,000	部門 1
10	¥ 100	部門 2

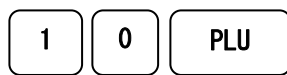
<手順>

1. PLU の登録設定が完了している番号を KEY にて入力します。

PLU1 の場合

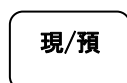
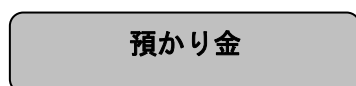
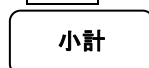


PLU10 の場合



登録設定されている金額が印字されます。

2. **小計** を押してお客様から頂いた金額を入力し **現/預** で完了です。



完了

## 担当者の設定と管理機能

### 担当者機能を有効にする

担当者機能を有効にすることで最大「8人」の売上、暗証番号を管理することができます。  
この設定を行うときは、モード切り替えスイッチを**設定**の位置にあわせます。

<例>：担当者機能を有効にする。

1. 担当者設定のコード番号「8」を入力します。

8

2. 機能を有効にするコード「1」を入力し、**訂正**キーを押します。

1

訂正

3. これで担当者機能が有効になりました。

レシート印字例

システム	8	1
------	---	---

#### 参照

上記とは逆に、担当者機能を無効にする場合は、上記 2. で入力するコードを「0」と入力してください。

#### 注意

お買い上げ直後の初期設定時、担当者機能は**無効**になっています。  
担当者機能を無効にすると、担当者番号や暗証番号を入力することなく操作が可能です。

## 担当者ごとの暗証番号を設定する

本機を使用する担当者ごとに3桁の暗証番号が設定できます。

この設定を行うときは、モード切り替えスイッチを**設定**の位置にあわせませす。

<例>：担当者1の暗証番号を「123」、担当者2の暗証番号を「456」と設定する。

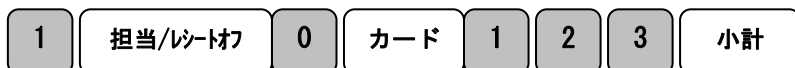
1. 担当者の暗証番号設定のコード「81」を入力し、**訂正**キーを押します。



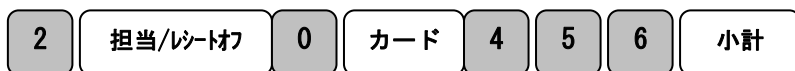
2. 担当者の番号（この例の場合は「1」）を入力後**担当/レシート**と**0**キー、**カード**キーと、続けて暗証番号（この例の場合は「123」）を入力し、**小計**キーを押して設定を完了させます。

担当者2も同様の手順にて販売員設定を行います。

<担当者1>



<担当者2>



レシート印字例

システム	8	1
担当 1		123
担当 2		456

### 注意

暗証番号を消去する場合には、

担当者番号（1～8）→**担当/レシート**キー→0→**カード**→000→**小計**と押してください。

暗証番号を「000」に設定した場合は、実使用时、担当者番号のあと暗証番号を入力する必要はなく、担当者番号（1～8）→**担当/レシート**キーと入力するだけで使用可能になります。

つまり、暗証番号として「000」は**認められませんので**ご注意ください。

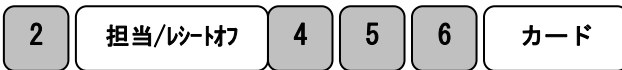
（お買い上げ直後の初期設定時、全ての担当者の暗証番号は「000」に設定されています。）

### 担当者機能を有効にした場合の操作

担当者機能を有効にし、担当者番号及び暗証番号を設定後、実際にレジを使用する際の操作方法です。

<例> : 既に登録してある担当者2、暗証番号「456」にてレジを使用する。

1. モード切り替えスイッチを、「レシート」または「記録」の位置にします。
2. 担当者の2、**担当/レシート**キー、続いて暗証番号の「456」を入力します。



暗証番号の「456」は画面上ではセキュリティの為「\*\*\*」と表示されます。

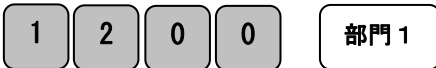
3. 続けて通常の売上の登録をします。

<例>

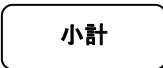
単価	数量	部門	預かり金
¥ 1,200	1	部門 1	¥ 2,000

<手順>

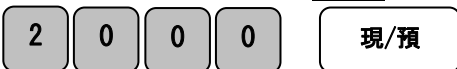
4. 商品の単価と部門キーを押します。



5. **小計**キーを押します。



6. 預かり金額を入力して**現/預**キーを押します。



<印字例>

担当 02	16:56
2007-08-02	0002
部門 01	¥1,200
小計	¥1,200
課税合計	¥1,200
消費税 5%	¥57
<b>合計</b>	¥1,200
お預り	¥2,000
お釣り	¥800

### 参照

設定が正常に完了すると、表示窓の最左桁に設定した販売員の番号「C\*」が表示されます。  
選択した担当者番号を解除する場合は、モード切り替えスイッチを「OFF」の状態にするか、上記と同じ手順で別の担当者番号を入力設定してください。



## 文字の設定

本機は英数字や記号だけでなくカナで印字表示することができます。

あらかじめ、部門キーやPLUに個々の商品名等を設定しておく事により、レシートなどの印字内容を解り易くすることができます。また、担当者名やストアメッセージなども印字表示することができます。

文字の種類：半角英・カナ入力ができます。

※文字入力設定を行うときは、モード切り替えスイッチを【設定】の位置にあわせませす。

文字設定には下記KEYを使用します。

	X/時刻					
	倍角					
	7	8	9			
	ア @	カ ABC	サ DEF			
返品/ 値引	4	5	6			
カ/ABC	タ GHI	ナ JKL	ハ MNO			
訂正	1	2	3	部門1	部門4	
←BS	マ PQRS	ヤ TUV	ラ WXYZ			
	0	00	.			
	SP	ワ "#	←			

### 各キーの説明：

- ・「カ/ABC」＝カナ・英数切り替えに使用します。
- ・「替/#」＝文字の入力設定をしたい箇所へ変更する時使用します。  
※印加の度に切り替わります。  
PL001 (PLU) ⇒ DP01 (部門) ⇒ CL1 (担当) ⇒ HD1 (ヘッダ-メッセージ) ⇒ FT1 (フッター-メッセージ) ⇒ 0 ⇒ PL001 (PLU)。。繰り返す
- ・「カード」＝文字表示設定完了時に使用します。
- ・「部門1」「部門4」＝各設定番号の割り当てに使用します。  
PLU: 1～200 (番号)  
部門: 1～6 (部門数)  
担当: 1～8 (名称)  
ヘッダ-メッセージ: 1～6 (行数)      フッター-メッセージ: 1～4 (行数)
- ・「0～9」＝文字入力に使用します。
- ・「←BS」＝バックスペースKEY (文字を最後尾から1文字消します。)
- ・「SP」＝スペースKEY (文字に間隔を空ける際に必要となるキーです。)
- ・「.」＝改行KEY (Enter キー \* 同じ文字を続けて入力する際に必要となるキーです。)

文字の入力方法：

携帯電話に似た文字入力方式です。キーの印加回数により選択します。

※印加とはキーの押下を意味します。印加回数は0から始まります。

アルファベットの場合

印加回数 キー	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2		
00	0	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>	?			
1	P	Q	R	S	p	q	r	s	1																
2	T	U	V	t	u	v	2																		
3	W	X	Y	Z	w	x	y	z	3																
4	G	H	I	g	h	i	4																		
5	J	K	L	j	k	l	5																		
6	M	N	O	m	n	o	6																		
7	7	@	[	¥	]	^	_	{	!	}	~														
8	A	B	C	a	b	c	8																		
9	D	E	F	d	e	f	9																		

カナの場合

印加回数 キー	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2
00	ワ	ヲ	ン	。	「	」	、	.	ゝ	°	—												
1	マ	ミ	ム	メ	モ																		
2	ヤ	ユ	ヨ	ヤ	ユ	ヨ																	
3	ラ	リ	ル	レ	ロ																		
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ																	
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ																		
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ																		
7	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ													
8	カ	キ	ク	ケ	コ																		
9	サ	シ	ス	セ	ソ																		

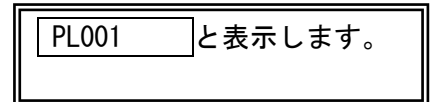
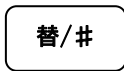
# PLUに商品名の設定

<例>

PLU 番号 51 に「Tシャツ」、と設定。

◆モード切り替えスイッチ⇒【設定】の位置に合わせます。

1. 替/#キーを押します。



2. 部門1若しくは部門4を繰返し押し「PLU51」に合わせます。

・部門1の場合

部門1 を連打にて、PL001・PL002・PL003・・・PL051 に番号表示設定

・部門4の場合

部門4 を連打にて、PL200・PL199・PL198・・・PL051 に番号表示設定

・文字配列表に従い数字キー2を1回押して「T」（2番KEY、印加回数0）



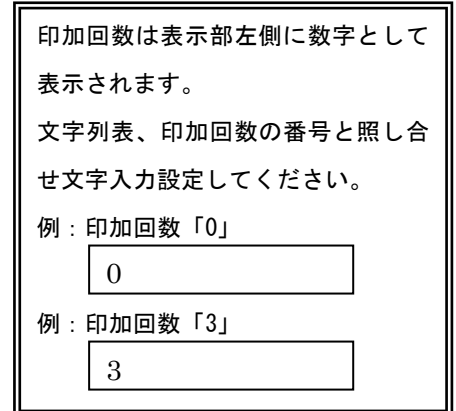
・入力したものを←キーにて決定し、続けてカナ表示のため、切替カナ/ABCを押します。



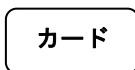
・文字配列表(半角かな)に従い「シ」（9番KEY、印加回数1）

・文字配列表(半角かな)に従い「ャ」（2番KEY、印加回数3）

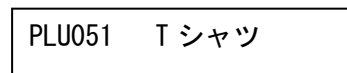
・文字配列表(半角かな)に従い「ッ」（4番KEY、印加回数2）



3. カードを押して PLU51 番「Tシャツ」登録されます。



<印字表示>



4. 繰返し設定の場合は部門1 部門4を繰返し押し入力したい PLU 番号に合わせます。

5. 設定完了であれば、現/預キーを押して設定を完了させてください。

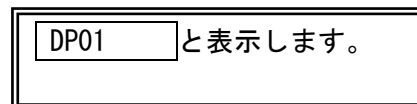
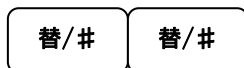
## 部門キーに商品名等の設定

<例>

部門6に「ルイ」と設定。

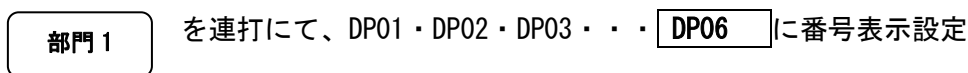
◆モード切り替えスイッチ⇒【設定】の位置に合わせます。

1. 替/#キーを2回押します。

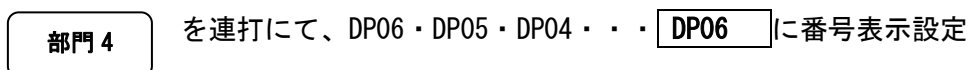


2. 部門1若しくは部門4を繰返し押し「DP06」に合わせます。

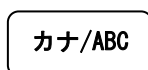
・部門1の場合



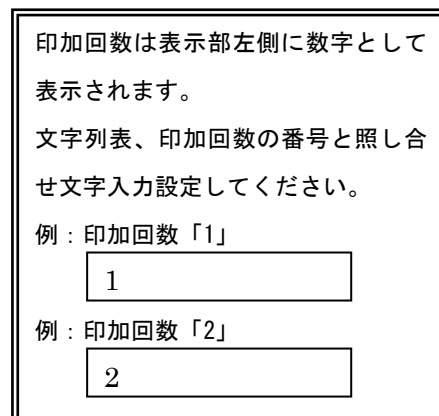
・部門4の場合



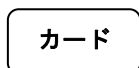
・切替カナ/ABCを押しカナ設定にします。



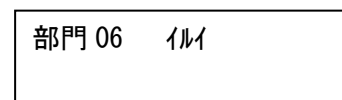
- ・文字配列表(半角カナ)に従い「イ」(7番KEY、印加回数1)
- ・文字配列表(半角カナ)に従い「ル」(3番KEY、印加回数2)
- ・文字配列表(半角カナ)に従い「イ」(7番KEY、印加回数1)



3. カードを押して部門6「ルイ」登録完了です。



<印字表示>



4. 繰返し設定の場合は部門1 部門4を繰返し押し入力したい部門番号に合わせます。

5. 設定完了であれば、現/預キーを押して設定を完了させてください。

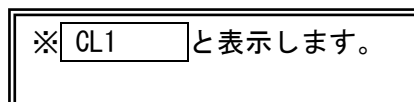
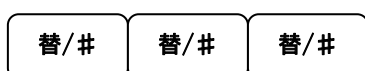
## 担当番号に名前を入力

<例>

担当 04 に「ヤマダ」、と設定。

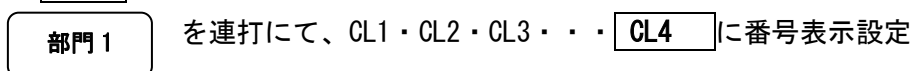
◆モード切り替えスイッチ⇒【設定】の位置に合わせます。

1. 替/# キーを 3 回押します。

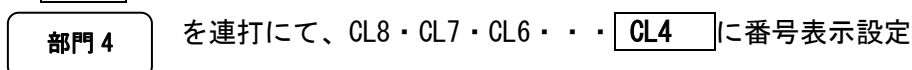


2. 部門 1 若しくは 部門 4 を繰返し押し「CL4」に合わせます。

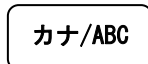
・ 部門 1 の場合



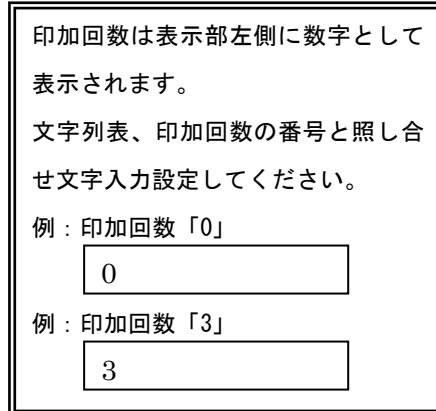
・ 部門 4 の場合



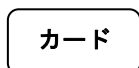
・ 切替カナ/ABC を押しカナ設定にします。



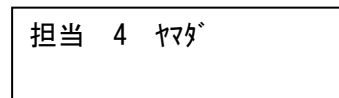
- ・ 文字配列表(半角カナ)に従い「ヤ」(2 番 KEY、印加回数 0
- ・ 文字配列表(半角カナ)に従い「マ」(1 番 KEY、印加回数 0
- ・ 文字配列表(半角カナ)に従い「タ」(4 番 KEY、印加回数 0
- ・ 文字配列表(半角カナ)に従い「 ” 」(00 番 KEY、印加回数 2



3. カード を押して担当 04 「ヤマダ」登録完了です。



<印字サンプル>



4. 繰返し担当者設定の場合は 部門 1 部門 4 を繰返し押し入力したい担当番号に合わせます。

5. 設定完了であれば、現/預 キーを押して設定を完了させてください。

# メッセージ入力

レシート発行されるヘッダー/フッターへオリジナルにカナ/英数のメッセージ入力ができます。

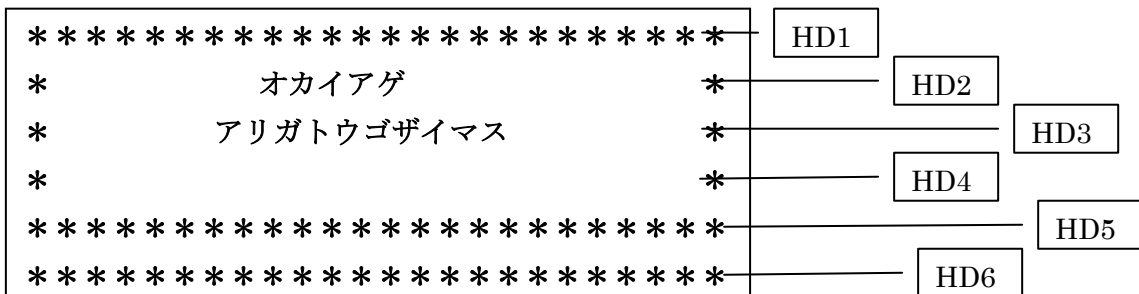
<p style="text-align: center;">----- お買上票 毎度ありがとうございます -----</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="text-align: right;">13:03</td> </tr> <tr> <td>2007-05-25</td> <td style="text-align: right;">0002</td> </tr> <tr> <td>部門 01</td> <td style="text-align: right;">¥1,000</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: right;">¥1,000</td> </tr> <tr> <td>課税合計</td> <td style="text-align: right;">¥1,000</td> </tr> <tr> <td>消費税 5%</td> <td style="text-align: right;">¥48</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>¥1,000</b></td> </tr> <tr> <td>お預り</td> <td style="text-align: right;">¥10,000</td> </tr> <tr> <td>お釣り</td> <td style="text-align: right;">¥9,000</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">** ** *    ** ** ** TEL 123-4567-7896</p>		13:03	2007-05-25	0002	部門 01	¥1,000			小計	¥1,000	課税合計	¥1,000	消費税 5%	¥48	<b>合計</b>	<b>¥1,000</b>	お預り	¥10,000	お釣り	¥9,000	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             ヘッダー範囲、6行 24列 (半角) のカナ/英数の登録が可能です。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注意：</p> <p>ヘッダー、フッターにメッセージを設定する際初期設定で使われている漢字は設定できません。設定可能な文字は「カナ・英数・記号」のみです。</p> <p>※P49 表参照</p> <p>また、オリジナルメッセージをヘッダーに設定した場合初期値の設定に戻すことができません。</p> <p>ご注意くださいませ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             フッター範囲、4行 24列 (半角) のカナ/英数の登録が可能です。         </div>
	13:03																				
2007-05-25	0002																				
部門 01	¥1,000																				
小計	¥1,000																				
課税合計	¥1,000																				
消費税 5%	¥48																				
<b>合計</b>	<b>¥1,000</b>																				
お預り	¥10,000																				
お釣り	¥9,000																				

※初期設定状態はヘッダー範囲に「お買上票 毎度ありがとうございます」が入力設定されています。

フッター範囲には登録設定はされておられません。

## ヘッダーメッセージを入力する

<例>以下のメッセージをヘッダーへ作成しましょう。



◆モードKEY⇒【設定】の位置に合わせます。

1. **替/#**キーを4回押します。

[替/#][替/#][替/#][替/#]

2. 入力行の設定をします。

表示のレイアウトは上から HD1・HD2・HD3・HD4・HD5・HD6 となります。

**1 行目を設定(HD1)** LCD に **HD1** と表示します。

印字 : 「\*\*\*\*\*」 (24 列)

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・「カード」登録完了 (印字されます)

< 印字表示 >

\*\*\*\*\*

**2 行目を設定 (HD2)** HD2 と表示します。

印字 : 「\*   オカイゲ   \*」

・ \* = [00] を 11 回押下後 [↵]

・ [SP] を 8 回押下

カナ入力に切り替え

・ 「カナ/ABC」 を押す

・ オ = [7] [7] [7] [7] [7] <7 を 5 回押下

・ カ = [8]

・ イ = [7] [7]

・ 決定 = [↵] ※続けてア行入力の為改行が必要。

・ ア = [7]

・ ケ = [8] [8] [8] [8] <8 を 4 回押下

・ ” = [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] <00 を 9 回押下

・ [SP] を 8 回押下後 [↵]

英数入力に切り替え

・ 「カナ/ABC」 を押す

・ \* = [00] を 11 回押下後 [↵]

・ 「カード」 登録完了 (印字されます)

< 印字表示 >

*	オカイアゲ	*
---	-------	---



### 3 行目を設定 (HD3)

HD3

と表示します。

印字 : 「\* アリガトウゴザイマス \*

・ \* = [00] を 11 回押下後 [↵]

・ [SP] を 5 回押下後 [↵]

カナ入力に切り替え

・ 「カナ/ABC」 を押す

・ 7 = [7]

・ リ = [3] [3]

・ カ = [8]

・ “ = [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00]

・ ト = [4] [4] [4] [4] [4]

・ ウ = [7] [7] [7]

・ コ = [8] [8] [8] [8] [8]

・ “ = [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00]

・ サ = [9]

・ “ = [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00] [00]

・ イ = [7] [7]

・ マ = [1]

・ ス = [9] [9] [9]

・ [SP] を 4 回押下後 [↵]

英数入力に切り替え

・ 「カナ/ABC」 を押す

・ \* = [00] を 11 回押下後 [↵]

・ 「カード」 登録完了 (印字されます)

< 印字表示 >

\* アリガトウゴザイマス \*

### 4 行目を設定 (HD4)

HD4

と表示します。

印字 : 「\* (24 列) \*

・ \* = [00] を 11 回押下後 [↵]

・ [SP] を 22 回押下後 [↵]

・ \* = [00] を 11 回押下後 [↵]

・ 「カード」 登録完了 (印字されます)

< 印字表示 >

\* \*

**5 行目を設定 (HD5)**

**HD5**

と表示します。

印字 : 「\*\*\*\*\*」 (24 列)

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ \*=[00] を 11 回押下後 [↵]

・ 「カード」登録完了 (印字されます)

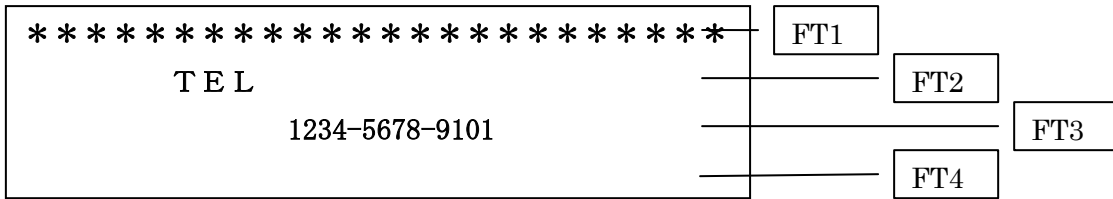
< 印字表示 >

\*\*\*\*\*



## フッターメッセージを入力する

＜例＞以下のメッセージをフッターへ作成しましょう。



◆モードKEY⇒【設定】の位置に合わせます。

1. 替/#キーを5回押します。

[替/#][替/#][替/#][替/#][替/#]

2. 入力行の設定をします。

表示のレイアウトは上から FT1・FT2・FT3・FT4 となります。

**1行目を設定(FT1)** LCD に FT1 と表示します。

印字: 「\*\*\*\*\*」(24列)

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・\*=[00]を11回押下後[↵]

・「カード」登録完了(印字されます)

＜印字表示＞

\*\*\*\*\*

**2 行目を設定 (FT2)**  と表示します。

印字 : 「  」

- ・ [SP] を 4 回押下
- ・ T = [2]
- ・ E = [9] [9]
- ・ L = [5] [5] [5]
- ・ 「カード」登録完了 (印字されます)

< 印字表示 >

**3 行目を設定 (FT3)**  と表示します。

印字 : 「  」

- ・ [SP] を 6 回押下後 [↵]
- ・ 1 = [1] を 9 回押下後 [↵]
- ・ 2 = [2] を 7 回押下後 [↵]
- ・ 3 = [3] を 9 回押下後 [↵]
- ・ 4 = [4] を 7 回押下後 [↵]
- ・ - = [00] を 14 回押下後 [↵]
- ・ 5 = [5] を 7 回押下後 [↵]
- ・ 6 = [6] を 7 回押下後 [↵]
- ・ 7 = [7] を 1 回押下後 [↵]
- ・ 8 = [8] を 7 回押下後 [↵]
- ・ - = [00] を 14 回押下後 [↵]
- ・ 9 = [9] を 7 回押下後 [↵]
- ・ 1 = [1] を 9 回押下後 [↵]
- ・ 0 = [00] を 1 回押下後 [↵]
- ・ 1 = [1] を 9 回押下後 [↵]
- ・ 「カード」登録完了 (印字されます)

< 印字表示 >

**4 行目を設定 (FT4)**  と表示します。

入力設定の例は空白ですので、 キーを印加し、フッター設定の項目を終了します。

※文字入力する際は 3 行目と同様の入力手順を行ってください。



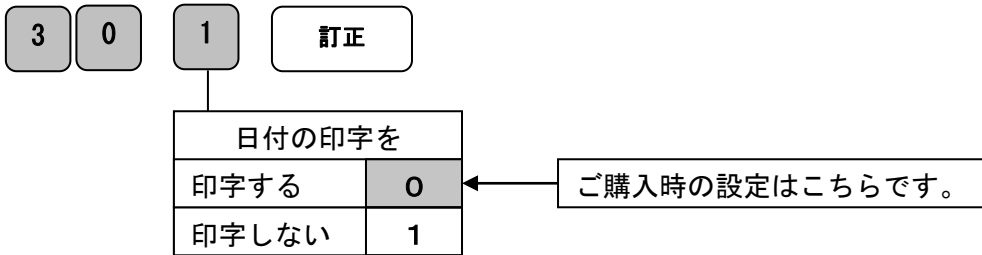
## 印字制御の設定

日付、時刻、一連番号(レシート、ジャーナル、点検/精算レポート)の印字する/しない、点検/精算レポートへ累計の印字する/しないの設定をします。

これらの設定を行うときは、モード切り替えスイッチを**設定**の位置にあわせます。

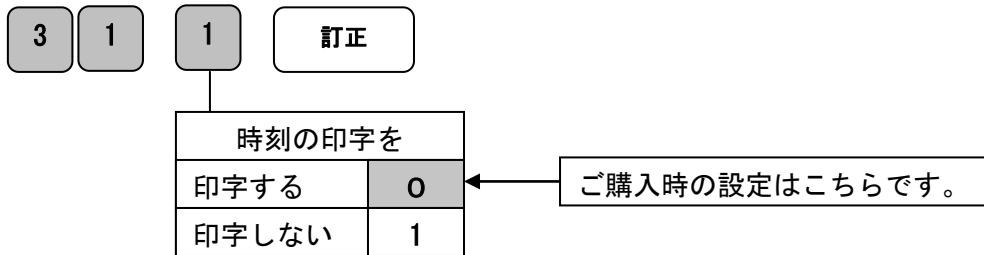
<日付の印字をしない場合>

日付印字制御のコード **3** **0** を入力して、印字しない **1** を押して **訂正** キーを押す。



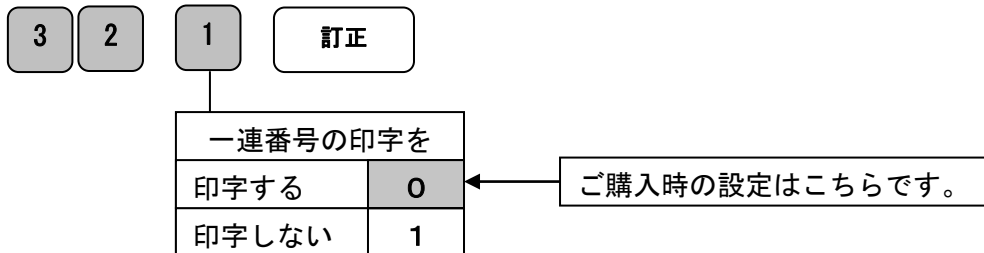
<時刻の印字をしない場合>

時刻印字制御のコード **3** **1** を入力して、印字しない **1** を押して **訂正** キーを押す。



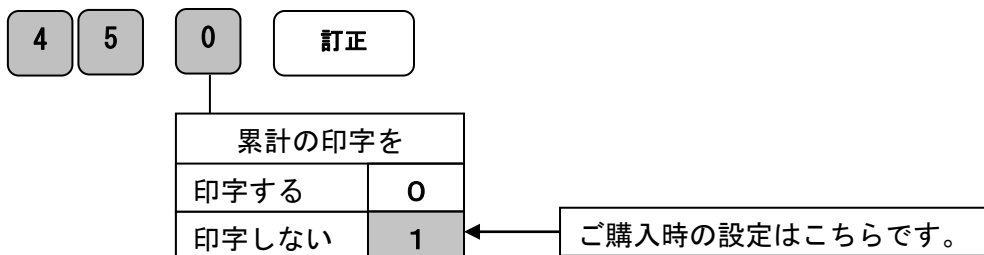
<一連番号の印字をしない場合>

一連番号印字制御のコード **3** **2** を入力して、印字しない **1** を押して **訂正** キーを押す。



<累計の印字をする場合>

累計印字制御のコード **4** **5** を入力して、印字する **0** を押して **訂正** キーを押す。



## 設定リセット操作

**部門リセット** 各部門の設定登録を初期状態に戻す方法です。

最初にモード切替スイッチを「設定」の位置にします。

設定コードを KEY 入力し **現/預** キーを押します。



KEY 入力操作後にリセットレポートが発行されます。

リセットレポートに設定前回の内容が残っていなければリセット完了です。

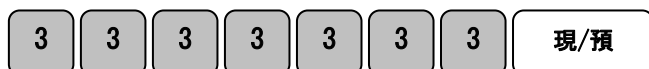
<リセットレポート>

部門 01	ST.0
部門 01	0
部門 02	ST.0
部門 02	0
部門 03	ST.0
部門 03	0
部門 04	ST.0
部門 04	0
部門 05	ST.0
部門 05	0
部門 06	ST.0
部門 06	0

**PLUリセット** PLUの設定登録を初期状態（PLU登録無し）に戻す方法です。

最初にモード切替スイッチを「設定」の位置にします。

設定コードを KEY 入力し **現/預** キーを押します。



KEY 入力操作後にペーパーが紙送りされます。

ペーパーの紙送りが確認できましたらリセット完了です。

この操作により部門及びPLU設定で決済を行ったデータも消去されてしまいます。

事前に精算レポート等の発行をお勧めします。

日付・時刻の登録内容は初期状態には戻りません。



# 消耗品のセットアップと交換

## 設定保持用乾電池のセット、交換

初めてお使いになる場合は、必ず乾電池（単三形 2 本）をセットする必要があります。

尚、乾電池は別売りとなっておりますのでお買い求めの上、セットしてください。

乾電池は 1 年に 1 回の交換を目安としてください。

### 手川頁

1. 本体裏面部の「電池ボックスのフタ（小）」を開けます。



2. 乾電池（単三形）2 本を、極性に注意して確実にセットします。



3. 手順 1 の逆の要領で、電池ボックスのフタ（小）を取り付けて完了です。



### 注意

電池を入れずに使用すると、日付、時刻、集計数値等が消えてしまいます。

電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。

乾電池は、2 本とも同種類の新品を使用してください。

### 駆動用乾電池のセット、交換

このレジスターは単二型乾電池×4本使用でACアダプターを接続していなくても使用できる仕様となっています。

ただしACアダプターをコンセントに挿していない状態で電源ジャックを本体に挿入すると電池を搭載していても電池では動作しません。

乾電池での使用の際には、電源ジャックを本体から外した状態でご使用下さい。

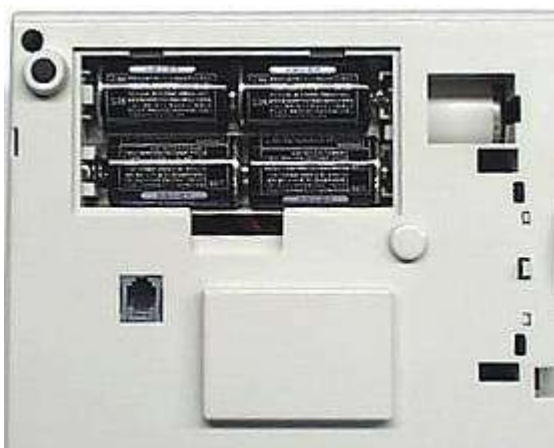
また、本機には乾電池の充電機能はありません。

### 手川頁

1. 本体裏面の電池ボックスのフタ（大）を開けます。



2. 乾電池（単二型）×4本を極性に注意して確実にセットします。



3. 再びフタを閉めて終了です。

### 注意

乾電池は必ず国産の新品、同銘柄を使用してください。  
液漏れ等の破損、不具合がある物を使用しますと機器の破損等の原因となります。

## ロールペーパーのセット (ジャーナル)

ロールペーパーを「ジャーナル」として用いる場合のセット方法です。

初めてお使いになる場合は、ロールペーパーをセットする前に、設定保持用乾電池をセットしてください。(64 ページ)

### 手順

1. モード切り替えスイッチを「記録」の位置にします。



2. プリンターカバーを開きます。



3. 紙押さえローラーを上方に起こします。



4. ロールペーパーを図のようにセットします。



5. 紙押さえローラーを戻します。  
(カチッと音がするまでセットして下さい)



6. ジャーナル巻き取りホルダーの溝にロールペーパーを差し込み、数回巻きつけます。



7. ジャーナル巻き取りホルダーをセットし、**送り** キーを押し続け、たるみを取ります。



8. プリンターカバーを閉じて準備完了です。



### 注意

本機は必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。  
ロールペーパーの規格は、

「紙幅 57~58mm × 外径 60mm 以下」感熱紙タイプです。

## ロールペーパーのセット（レシート）

ロールペーパーを「レシート」として用いる場合のセット方法です。

初めてお使いになる場合は、ロールペーパーをセットする前に、設定保持用乾電池をセットしてください。（64 ページ）

### 手川頁

1. モード切り替えスイッチを「レシート」の位置にします。



2. プリンターカバーを開きます。



3. 紙押さえローラーを上方に起こします。



4. ロールペーパーを図のようにセットします。



5. 紙押さえローラーを戻します。  
(カチッと音がするまでセットして下さい)



6. プリンターカバーのカッター部分にロールペーパーを通します。



7. プリンターカバーを閉じ、不要なロールペーパーをカットして準備完了です。



### 注意

本機は必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。  
ロールペーパーの規格は、

「紙幅 57～58mm×外径 60mm 以下」感熱紙タイプです。

☆ロールペーパーをレシートとして用いる場合、ジャーナル巻き取りホルダー（付属品）は使用しません。

## ロールペーパーの交換（ジャーナル）

ロールペーパーを「ジャーナル」として用いている場合の交換方法です。  
ロールペーパーが少なくなると、紙のふちに赤い線が出てきます。  
この場合は、なるべく早めに新しいロールペーパーと交換してください。

### 手順

1. モード切り替えスイッチを「記録」の位置にします。
4. ジャーナル巻き取りホルダーを取り外します。



2. プリンターカバーの後方部を持ち上げ、カバーを開けます。



3. **送り** キーを押してロールペーパーを空送りし、印字されていない部分で紙を切り離します。



5. ジャーナル巻き取りホルダーの左側板をずらして、取り外します。



6. 印字済みのロールペーパーを取り外します。



### 参照

再度ロールペーパーを取り付ける場合の手順は、66ページを参照してください。  
本体内に残ったロールペーパー及び芯を取り除く場合の手順は、69ページの「手順4,5」を参照してください。

## ロールペーパーの交換（レシート）

ロールペーパーを「レシート」として用いている場合の交換方法です。  
ロールペーパーが少なくなると、紙のふちに赤い線が出てきます。  
この場合は、なるべく早めに新しいロールペーパーと交換してください。

### 手順

1. モード切り替えスイッチを「レシート」の位置にします。
4. 紙送りローラーを上方に起こします。

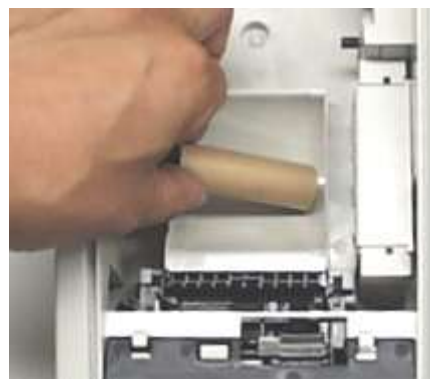


2. プリンターカバーの後方部を持ち上げ、カバーを開きます。



5. 本体に残っているロールペーパーの芯を取り除きます。

3. **送り** キーを押してロールペーパーを空送りし、印字されていない部分で紙を切り離します。



### 参照

再度ロールペーパーを取り付ける場合の手順は、67 ページを参照してください。

## ドロアーの設置方法

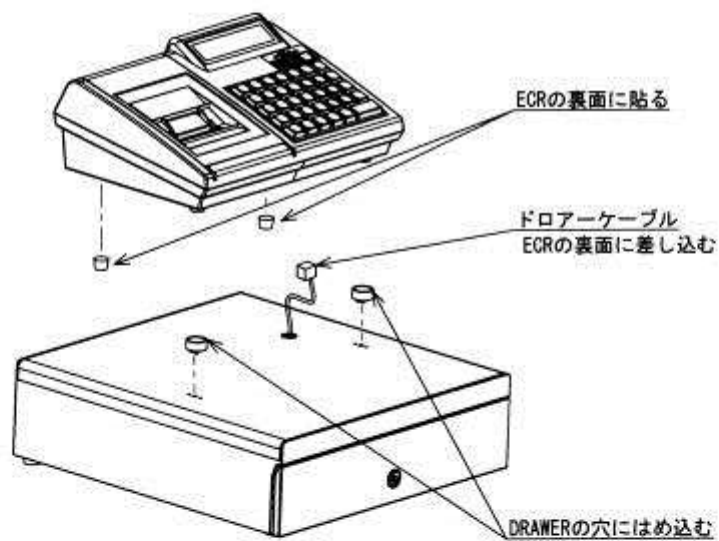
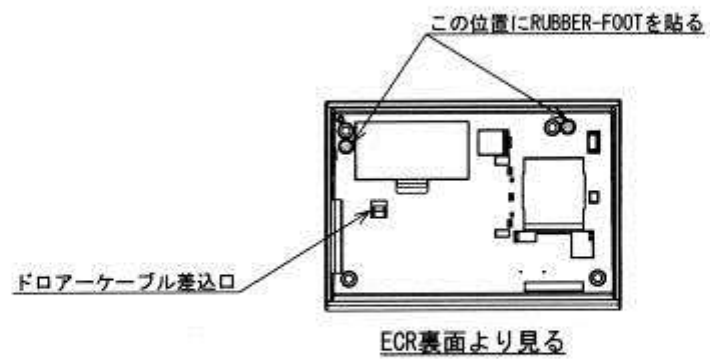
このレジスターはキャッシュドロアーの接続が出来ます。

レジスター本体、底面にあるコネクタにキャッシュドロアーからのハーネスを接続します。

(駆動用電池ボックス手前のコネクタに接続する。)

※注意 ドロアーの付属品は購入された製品によって異なります。

### 【ドロアーの設置の仕方】



## 故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがあります。  
修理を依頼される前にもう一度お調べ下さい。

駆動用電池が入っているのに動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池の残容量が少なくなっていたり消耗していませんか？</li> <li>● ACアダプターをコンセントに挿しておらず、電源ジャックを本体に挿したままにいませんか？</li> </ul>
表示窓に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ACアダプターがコンセントから外れていませんか？</li> <li>● 電源コンセントまで電源がきていますか？</li> <li>● 駆動用電池の残容量が少なくなっていたり消耗していませんか？</li> <li>● ACアダプターが繋がっておらず駆動用乾電池も入っていない状態ではありませんか？</li> </ul>
表示部が点灯しても登録できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 切り替えスイッチは「レシート」か「記録」の位置に正しく合わせていますか？</li> </ul>
レシートが発行されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紙詰まりを起していませんか？</li> <li>● ロール紙の残量は十分ですか？</li> <li>● 切り替えスイッチが「記録」になっていませんか？</li> <li>● レシートオフモードの設定になっていませんか？ (P30)</li> </ul>
ジャーナルが巻き取られない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジャーナル巻取りホルダーはホルダー受けに確実にセットされていますか？</li> <li>● ロールペーパーの初めが、ジャーナル巻取りホルダーにきちんとセットされていますか？</li> <li>● 切り替えスイッチが「レシート」になっていませんか？</li> </ul>
日付・時刻が消えてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定保持用乾電池が入っていないか、消耗していませんか？</li> </ul>



# 仕 様

型 式	302um		
表 示 部	LCD 5×7ドット 12文字		
印 字 部 (プリンタ)	SII 社製 LTPZ225 印字方法 : 感熱紙方式 (サーマル) 印字速度 : 5.2 行/秒 (25°C) 桁 数 : 24 桁 紙 幅 : 57.5±0.5mm 寿 命 : 6150000 行		
メモリー保護	単 3 形乾電池 2 本使用 マンガン電池の場合 記憶保持期間 : 約 1 年		
定 格 電 圧	AC アダプター (AC100V 使用) 単 2 型乾電池×4 本 (アルカリ電池)		
定 格 周 波 数	50/60Hz		
定 格 消 費 電 流	0.3A		
機 能	部 門	6 部門	
	PLU	200 商品	
	担 当	8 人	
	税	内税、外税 (初期設定 5%) 及び非課税	
	支 払 い	現金、カード、掛	
	レポ-ト	点検/精算 日計レポ-ト 点検/精算 PLU レポ-ト 点検/精算 担当者レポ-ト 点検/精算 電子メールジャーナル 点検 2/精算 2 累計集計レポ-ト	
	設定可能な 項目	日付、時間、税率 (0~99.999%)、割引率 (0~99.99%)	
		部 門	税、単品売上/通常売上、金額
		PLU	金額、連結部門、設定情報印字
		日付・時刻・一連番号・累計の印字/非印字 PLU、部門、担当者、ヘッダー、フッターの文字設定 担当者の暗証番号有効/無効 (暗証番号 3 桁)	

# 保証およびアフターサービス

## 保証とアフターサービス

### 保証書はよくお読み下さい

保障期間は、お買い上げ日から1年間となります。

保証書(別に添付)は、必ず【お買い上げ日・販売店】などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取り下さい。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

**販売日及び販売店の記載なき保証書は無効となりますのでご注意ください。**

### 修理を依頼されるときは

まず68ページの【故障かなと思ったら】に従って調べて頂き、直らないときは次の処置を行ってください。

■保証期間中は・・・

保証書の規定の通り、お買い上げの販売店、またはサービスセンターが修理させていただきます。保証書をご用意の上、お客様相談センターへご連絡下さい。

■保障期間を過ぎているときは・・・

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターにお問い合わせ下さい。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## お客様相談窓口

■製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答え致します。

■修理の受付、お電話による問診を致します。また必要に応じて修理の手配を致します。

### お客様相談窓口

# 0596-37-5252

三重県伊勢市小俣町明野306-1

受付時間：月曜日～金曜日

AM9:00～PM12:00, PM1:00～PM5:00

(土曜・日曜・祝日・年末年始・ゴールデンウィーク・お盆などを除く)

## JET 電子レジスター製品保証書

機種名	JET302um	シリアル No#	
保証期間	お買い上げ年月日 年 月 日から 本体 1 年		
お客様	ご住所	〒	
	ご氏名	様	
	TEL	TEL :	
販売店	店名	〒	
	住所	TEL :	

### ※販売店様へのお願い

一般ユーザー様の保護のため必ず、販売店名、住所、販売年月日等の押印・記入をお願い致します。

### 販売元

クローバー電子株式会社

### お問い合わせ/お客様相談室

0596-37-5252

三重県伊勢市小俣町明野 306-1

※ 保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ大切に保管してください。

### 保証期間中

説明書に従った、正常な使用状態での故障に関しては、お買い上げ後表記の保証期間中は、無償で修理致します。本保証書を添えてお買い上げ店または弊社お客様相談室までご連絡下さい。また、内外部問わずご購入の製品加工に伴って生じた不具合に対し、加工費等の補償は致しません。なお、保証期間中でも次の場合は有償修理となります。

- 1) 誤用や乱用または取り扱い不注意によると弊社が判断する故障。
- 2) 火災/地震/水害および盗難などの災害による故障。
- 3) 不当な修理、解体、改造および異常電圧による故障。
- 4) 使用中に生じた傷などの外観上の変化。
- 5) 本保証書のない場合や必要事項(お買い上げ日、販売店名、捺印など)の記入がない場合。

### 保証期間経過後

修理により機能が回復すると思われる故障に関しては、有償修理させていただきます。

### 保証の対象

保証の対象は本体のみです。消耗品及び付属品は対象外とさせていただきます。

海外で使用された場合は対象外とさせていただきます。

**本書は日本国内においてのみ有効です。**

Rev. C